

**【表紙】**

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年12月15日
【発行者名】	ブラックロック・ジャパン株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 出川 昌人
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
【事務連絡者氏名】	加藤 淳一郎
【電話番号】	03-6703-4935
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし） ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	3,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

(注) 本書において文中および表中の数字は四捨五入された数値として表示されている場合があり、従って合計として表示された数字はかかる数値の総和と必ずしも一致するとは限りません。

## 第一部 【証券情報】

### (1) 【ファンドの名称】

ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)

ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)

(「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)」を総称して、以下「当ファンド」または「各ファンド」という場合があります。また、各々、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」を「為替ヘッジなし」、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)」を「為替ヘッジあり」という場合があります。)

### (2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権です。

当初元本は、1口当たり1円です。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託会社であるブラックロック・ジャパン株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

当ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

### (3) 【発行(売出)価額の総額】

各ファンドにつき3,000億円を上限とします。

### (4) 【発行(売出)価格】

購入受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額につきましては、販売会社または下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス：<http://www.blackrock.co.jp>

**(5) 【申込手数料】**

購入時の申込手数料（以下、「購入時手数料」といいます。）は、購入受付日の翌営業日の基準価額の3.15%（税抜3.00%）を上限として、販売会社が独自に定めることができます。

詳細は、販売会社にお問い合わせください。

（販売会社につきましては、「(8) 申込取扱場所」に記載の照会先までお問い合わせください。）

なお、購入時手数料には消費税に相当する金額および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）が含まれています。（以下同じ。）

累積投資契約に基づく収益分配金の再投資は無手数料となります。

**(6) 【申込単位】**

1万円以上1円単位とします。

ただし、分配金再投資は1円単位とします。

なお、販売会社によって上記と異なる購入の申込単位（以下「購入単位」といいます。）を別に定める場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

販売会社が定時定額購入サービスを取扱う場合、当該販売会社が別に定める申込単位となる場合があります。定時定額購入サービスの取扱いの有無は販売会社により異なる場合がありますので、お申込みの販売会社にご確認ください。

**(7) 【申込期間】**

平成23年12月16日から平成24年6月15日まで

なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

**(8) 【申込取扱場所】**

ファンドの申込取扱場所（以下「販売会社」といいます。）については下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス：<http://www.blackrock.co.jp>

**(9) 【払込期日】**

ファンドの投資者は、販売会社が定める日までに購入代金（購入受付日の翌営業日の基準価額に購入口数を乗じた金額に、購入時手数料を加算した金額をいいます。）を販売会社に支払うものとします。

振替受益権に係る各購入受付日の発行価額の総額は、販売会社によって追加信託が行われる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

**(10) 【払込取扱場所】**

上記「(8) 申込取扱場所」で払込みください。

## (11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

## (12) 【その他】

購入代金の利息

購入代金には利息をつけません。

日本以外の地域における発行

行いません。

購入不可日

ニューヨーク証券取引所の休場日、ニューヨークの銀行の休業日、その他米国債券市場の休日のいずれかに該当する場合には、販売会社の営業日であっても購入は受け付けません。詳細は販売会社にお問い合わせください。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および上記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

(参考)

投資信託振替制度とは、

- ・ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。
- ・ファンドの設定、換金、償還等がコンピュータシステム上の帳簿(「振替口座簿」といいます。)への記載
- ・記録によって行われますので、受益証券は発行されません。

## 第二部 【ファンド情報】

### 第1 【ファンドの状況】

#### 1 【ファンドの性格】

##### (1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）、ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）は、信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行うことを基本とします。

（「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）」、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）」を総称して、以下「当ファンド」または「各ファンド」という場合があります。また、各々、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）」を「為替ヘッジなし」、「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）」を「為替ヘッジあり」という場合があります。）

当ファンドは、追加型証券投資信託であり、追加型投信 / 海外 / 債券に属しています。下記は、社団法人投資信託協会の「商品分類に関する指針」に基づき当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。

##### < 商品分類表 >

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信 追加型投信	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産（ ） 資産複合

##### < 属性区分表 >

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 その他資産 (投資信託証券(債券)) 資産複合 資産配分固定型 資産配分変更型	年1回 年2回 年4回 年6回(隔月) 年12回(毎月) 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東(中東) エマージング	ファミリー ファンド  ファンド・ オブ・ ファンズ	<ヘッジなし> なし   <ヘッジあり> あり (フルヘッジ)

## &lt; 各分類および区分の定義 &gt;

## ．商品分類

単位型投信・追加型投信の区分	追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
投資対象地域による区分	海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
投資対象資産による区分	債券	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

## ．属性区分

投資対象資産による属性区分	その他資産（投資信託証券（債券））	目論見書または投資信託約款において、主として投資信託証券に投資する旨の記載があるものをいう。ただし、当ファンドは、投資信託証券（親投資信託）を通じて主として債券に投資する。
決算頻度による属性区分	年2回	目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいう。
投資対象地域による属性区分	グローバル（日本を含む）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を含む世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
投資形態による属性区分	ファミリーファンド	目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいう。
為替ヘッジによる属性区分	<ヘッジなし> 為替ヘッジなし	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。
	<ヘッジあり> 為替ヘッジあり（フルヘッジ）	目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。

上記は、社団法人投資信託協会の定義を基に委託会社が作成したものを含まず。なお、上記以外の商品分類・属性区分の定義については、社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

信託金の限度額は各ファンド5,000億円です。ただし、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

## ファンドの特色(各ファンドおよびマザーファンドの特色)

a. 当ファンドは、世界主要国の国債等(国債、政府機関債、国際機関債)を中心に公社債に投資します。

投資する公社債は、取得時において投資適格格付(B B B マイナス、B a a 3または同等の格付、またはそれ以上の格付)が付与されているもの、または同等の信用度を有すると判断されるものとします。

国債の他、投資適格格付を付与されている社債、資産担保証券<sup>\*</sup>等にも投資します。

<sup>\*</sup> 不動産ローンや自動車ローンの債権を裏付けとして発行された証券、M B S (モーゲージ証券)、C M B S (商業用不動産ローン担保証券)、A B S (資産担保証券)などがあります。

デュレーション・リスク、イールド・カーブ・リスク、セクター・リスク等の調整にあたっては、債券先物取引等のデリバティブを活用することがあります。

### < 投資する債券の種類と概要 >

<b>国債</b>  各国政府により発行される債券	<b>政府機関債 国際機関債</b>  政府機関等により発行される債券	<b>社債</b>  企業等により発行される債券	<b>A B S</b>  クレジットカード債権、自動車ローン、住宅ローン債権等を裏付けとして発行される債券	<b>M B S</b>  個人住宅ローン債権を裏付けとして発行される債券	<b>C M B S</b>  商業用不動産ローン債権を裏付けとして発行される債券
---------------------------------	---	--------------------------------	--	---	---

上記は一般的な債券の概要を述べたものであり、当ファンドが実質的に投資する債券の全てを網羅するものではありません。

b. シティグループ世界国債インデックス<sup>\*</sup>をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

為替ヘッジなし	シティグループ世界国債インデックス・円ベース
為替ヘッジあり	シティグループ世界国債インデックス・円ヘッジ円ベース

<sup>\*</sup> シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが公表する、世界主要国の国債の総合投資利回りを指数化したものです。シティグループ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

c. グローバルに展開するブラックロック・グループの各国拠点が運用を行います。

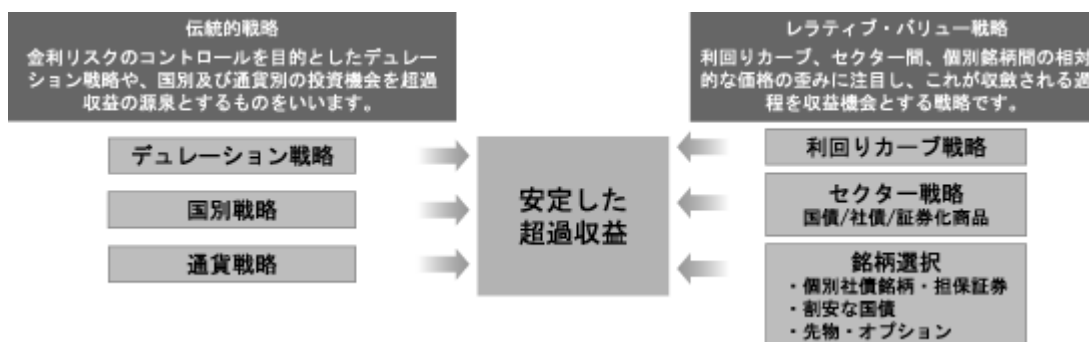
委託会社は、運用の指図に関する権限をブラックロック・グループの運用会社へ委託します。



運用の委託範囲の詳細については、「第二部 ファンド情報 第2 投資方針 (1)投資方針 各ファンドの投資態度」をご覧ください。

#### <ブラックロックの債券運用の特色>

金利・為替についての相場観に過度に依存せず、計算可能な相対価値(「レラティブ・バリュー」)に基づく投資機会を発見し、積み重ねていくことにより、安定した超過収益をあげることが可能であると考えています。



ファンドの運用体制等は変更となる場合があります。



d. 当ファンドはファミリーファンド方式により運用を行います。

為替ヘッジなし	原則として為替ヘッジを行いません。
為替ヘッジあり	原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

ただし、各ファンドとも一部機動的な運用を行う場合もあります。

「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり」の相互間でのスイッチングのお取扱いはありません。



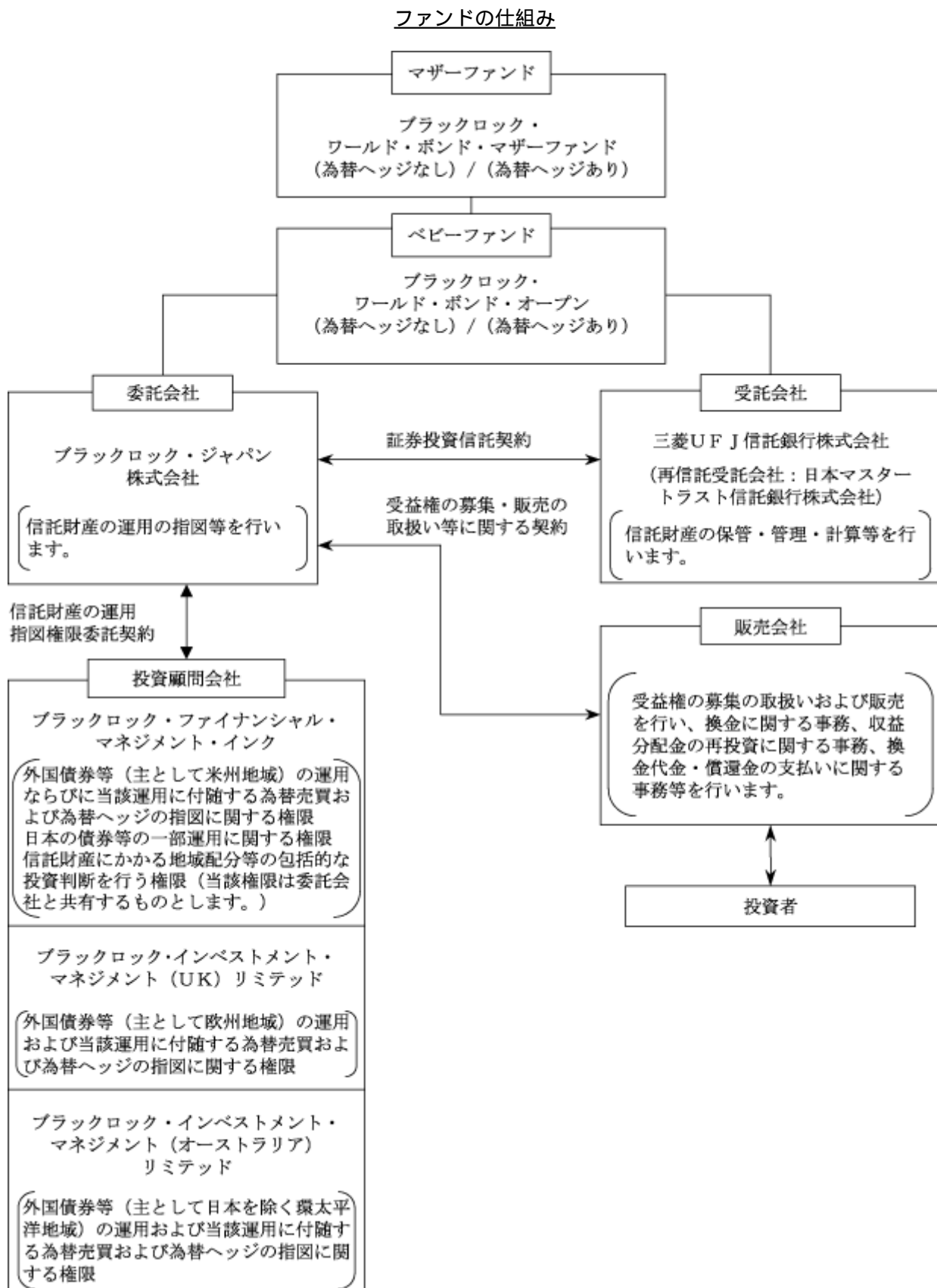
※「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり」の相互間でのスイッチングのお取扱いはありません。

ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、投資者から投資された資金をまとめてベビーファンド(「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり」)とし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。なお、信託約款上では「マザーファンド」は「親投資信託」という表現で定義されています。

## (2) 【ファンドの沿革】

- 平成10年7月1日 信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
- 平成18年10月1日 ファンド名称を「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）／（為替ヘッジあり）」へ変更
- 平成18年10月23日 運用の基本方針の変更
- 平成19年1月4日 投資信託振替制度への移行
- 平成21年12月2日 ファンドの委託会社としての業務をブラックロック・ジャパン株式会社からパークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社（新社名：ブラックロック・ジャパン株式会社）に承継

## (3) 【ファンドの仕組み】



## &lt; 契約等の概要 &gt;

## a . 「証券投資信託契約」

ファンドの設定・運営に関する事項、信託財産の運用・管理に関する事項、委託会社および受託会社の業務に関する事項、投資者に関する事項等について規定しています。

## b . 「受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約」

委託会社が販売会社に委託する受益権の募集販売の取扱い、換金事務、投資者に対する収益分配金および換金代金の支払、その他これらの業務に付随する業務等について規定しています。

## c . 「信託財産の運用指図権限委託契約」

投資顧問会社への運用指図権限の委託ならびに運用の指図に係る業務内容等について規定しています。

## &lt; 委託会社の概況 &gt;

平成23年9月末現在の委託会社の概況は、以下の通りです。

a . 資本金 2,435百万円

## b . 沿革

1985年1月	メリルリンチ投資顧問株式会社 (後のメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社)設立 1987年3月 証券投資顧問業者として登録 1987年6月 投資一任業務認可を取得 1997年12月 投資信託委託業務免許を取得
1988年3月	パークレイズ・デザート・ウェッド投資顧問株式会社 (後のパークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社)設立 1988年6月 証券投資顧問業者として登録 1989年1月 投資一任業務認可を取得 1998年3月 投資信託委託業務免許を取得
1999年4月	野村ブラックロック・アセット・マネジメント株式会社 (後のブラックロック・ジャパン株式会社)設立 1999年6月 証券投資顧問業者として登録 1999年8月 投資一任業務認可を取得
2006年10月	メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社を存続会社として、 ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 新会社商号:「ブラックロック・ジャパン株式会社」
2009年12月	パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社を存続会社として、 ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 新会社商号:「ブラックロック・ジャパン株式会社」

## c. 大株主の状況

株主名	住所	所有 株式数	所有比率
ブラックロック・ジャパン・ ホールディングス合同会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番3号	10,158株	100%

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

各ファンドの投資態度

#### 「為替ヘッジなし」

a．主としてブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジなし）受益証券への投資を通じて世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資します。投資する公社債は、原則として取得時において投資適格格付（B B B マイナス、B a a 3 または同等の格付、またはそれ以上の格付）が付与されているもの、または同等の信用度を有すると判断されるものとします。

b．シティグループ世界国債インデックス・円ベースをベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

c．実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、一部機動的な運用を行う場合があります。

#### 「為替ヘッジあり」

a．主としてブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジあり）受益証券への投資を通じて、世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資します。投資する公社債は、原則として取得時において投資適格格付（B B B マイナス、B a a 3 または同等の格付、またはそれ以上の格付）が付与されているもの、または同等の信用度を有すると判断されるものとします。

b．シティグループ世界国債インデックス・円ヘッジ円ベースをベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

c．実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、一部機動的な運用を行う場合があります。

「各ファンド共通」

- a . デュレーション・リスク、イールド・カーブ・リスク、セクター・リスク等の調整にあたっては、債券先物取引等のデリバティブを活用することがあります。
- b . ブラックロック・グループの運用会社に、以下の運用の指図に関する権限を委託します。

ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク (BlackRock Financial Management, Inc.)	外国債券等(主として米州地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限 日本の債券等の一部運用に関する権限 信託財産にかかる地域配分等の包括的な投資判断を行う権限(当該権限は委託会社と共有するものとします。)
ブラックロック・インベストメント・マネジメント (UK) リミテッド (BlackRock Investment Management (UK) Limited)	外国債券等(主として欧州地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限
ブラックロック・インベストメント・マネジメント (オーストラリア) リミテッド (BlackRock Investment Management (Australia) Limited)	外国債券等(主として日本を除く環太平洋地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限

- c . 前記に関わらず、委託会社は、日本を除く市場の休場日等に投資環境の変化等が認められた場合等に必要に応じて、外国債券等の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図を自ら行うことができます。

資金動向、市況動向、残存期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

マザーファンドの投資態度

「マザーファンド（為替ヘッジなし）」

- a . シティグループ世界国債インデックス・円ベースをベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- b . 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、一部機動的な運用を行う場合もあります。

「マザーファンド（為替ヘッジあり）」

- a . シティグループ世界国債インデックス・円ヘッジ円ベースをベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- b . 外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、一部機動的な運用を行う場合もあります。

「各マザーファンド共通」

- a . 世界主要国の国債等(国債、政府機関債、国際機関債)を中心に公社債に投資します。投資する公社債は、原則として取得時において投資適格格付(B B B マイナス、B a a 3 または同等の格付、またはそれ以上の格付)が付与されているもの、または同等の信用度を有すると判断されるものとしします。
- b . デュレーション・リスク、イールド・カーブ・リスク、セクター・リスク等の調整にあたっては、債券先物取引等のデリバティブを活用することがあります。
- c . ブラックロック・グループの運用会社に、以下の運用の指図に関する権限を委託します。

ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク(BlackRock Financial Management, Inc.)	外国債券等(主として米州地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限 日本の債券等の一部運用に関する権限 信託財産にかかる地域配分等の包括的な投資判断を行う権限(当該権限は委託会社と共有するものとしします。)
ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド(BlackRock Investment Management (UK) Limited)	外国債券等(主として欧州地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限
ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッド(BlackRock Investment Management (Australia) Limited)	外国債券等(主として日本を除く環太平洋地域)の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図に関する権限

- d . 前記に関わらず、委託会社は、日本を除く市場の休場日等に投資環境の変化等が認められた場合等に必要に応じて、外国債券等の運用ならびに当該運用に付随する為替売買および為替ヘッジの指図を自ら行うことができます。

資金動向、市況動向、残存期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## (2) 【投資対象】

各ファンドの投資対象

- a . 投資対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律(以下「投信法」といいます。)第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)とします。

「各ファンド共通」

- (a) 有価証券
- (b) デリバティブ取引に係る権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第21条、第22条および第24条に定めるものに限ります。)
- (c) 金銭債権
- (d) 約束手形(手形割引市場において売買される手形に限ります。)

## b. 投資対象とする有価証券

「為替ヘッジなし」

委託会社は信託金を主としてブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジなし)の受益証券のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

「為替ヘッジあり」

委託会社は信託金を主としてブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジあり)の受益証券のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

「各ファンド共通」

- (a) 株券または新株引受権証券
- (b) 国債証券
- (c) 地方債証券
- (d) 特別の法律により法人の発行する債券
- (e) 社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券(以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。))の新株引受権証券を除きます。)
- (f) 特定目的会社に係る特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)
- (g) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券(金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。)
- (h) 協同組織金融機関に係る優先出資証券(金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。)
- (i) 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券(単位未満優先出資証券を含む。以下同じ。)
- (j) コマーシャル・ペーパー
- (k) 新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。)および新株予約権証券
- (l) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
- (m) 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
- (n) 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
- (o) 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)



- (p) オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。)
- (q) 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
- (r) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- (s) 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)
- (t) 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
- (u) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- (v) 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの

なお、(a)の証券または証書、(l)ならびに(q)の証券または証書のうち(a)の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、(b)から(f)までの証券および(l)ならびに(q)の証券または証書のうち(b)から(f)までの証券の性質を有するもの、および(n)のうち投資法人債券を以下「公社債」といい、(m)の証券および(n)の証券(投資法人債券を除く)を以下「投資信託証券」といいます。

#### c. 投資対象とする金融商品

委託会社は、この信託の設定、換金、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、信託金を、有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することの指図ができます。

- (a) 預金
- (b) 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
- (c) コール・ローン
- (d) 手形割引市場において売買される手形
- (e) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
- (f) 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

#### 各マザーファンドの投資対象

##### 「各マザーファンド共通」

#### a. 投資対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投信法第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)とします。

- (a) 有価証券
- (b) デリバティブ取引に係る権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第15条、第16条および第18条に定めるものに限ります。)
- (c) 金銭債権

(d) 約束手形(手形割引市場において売買される手形に限ります。)

b. 投資対象とする有価証券

委託会社は信託金を主として次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

(a) 株券または新株引受権証券

(b) 国債証券

(c) 地方債証券

(d) 特別の法律により法人の発行する債券

(e) 社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券(以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。))の新株引受権証券を除きます。)

(f) 特定目的会社に係る特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)

(g) 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券(金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。)

(h) 協同組織金融機関に係る優先出資証券(金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。)

(i) 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券(単位未満優先出資証券を含む。以下同じ。)

(j) コマーシャル・ペーパー

(k) 新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。)および新株予約権証券

(l) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの

(m) 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)

(n) 投資証券もしくは投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)

(o) 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)

(p) オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。)

(q) 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)

(r) 外国法人が発行する譲渡性預金証書

(s) 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

(t) 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)

(u) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

(v) 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの

なお、(a)の証券または証書、(l)ならびに(q)の証券または証書のうち(a)の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、(b)から(f)までの証券および(l)ならびに(q)の証券または証書のうち(b)から(f)までの証券の性質を有するもの、および(n)のうち投資法人債券を以下「公社債」といい、(m)の証券および(n)の証券(投資法人債券を除く)を以下「投資信託証券」といいます。

### c. 投資対象とする金融商品

委託会社は、この信託の設定、換金、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、信託金を、有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することの指図ができます。

(a) 預金

(b) 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

(c) コール・ローン

(d) 手形割引市場において売買される手形

(e) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの

(f) 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

### (3) 【運用体制】

ファンドの運用・管理の各業務の役割分担を社内規程により定めております。

社内には内部監査を担当する部門、ファンドのリスク状況等をモニターし関連部署にフィードバックする部門により、本来目的としている運用が行われているか確認する組織、機能が確立しています。また、グループ企業に外部委託している場合においても、日次でポートフォリオ・モニタリングのデータを外部委託先より入手、またリスク管理を担当する部門が定期的に外部委託先の同部門と情報交換し、ファンドの運用状況を把握すると共に、必要な対応を図れる体制を構築しています。

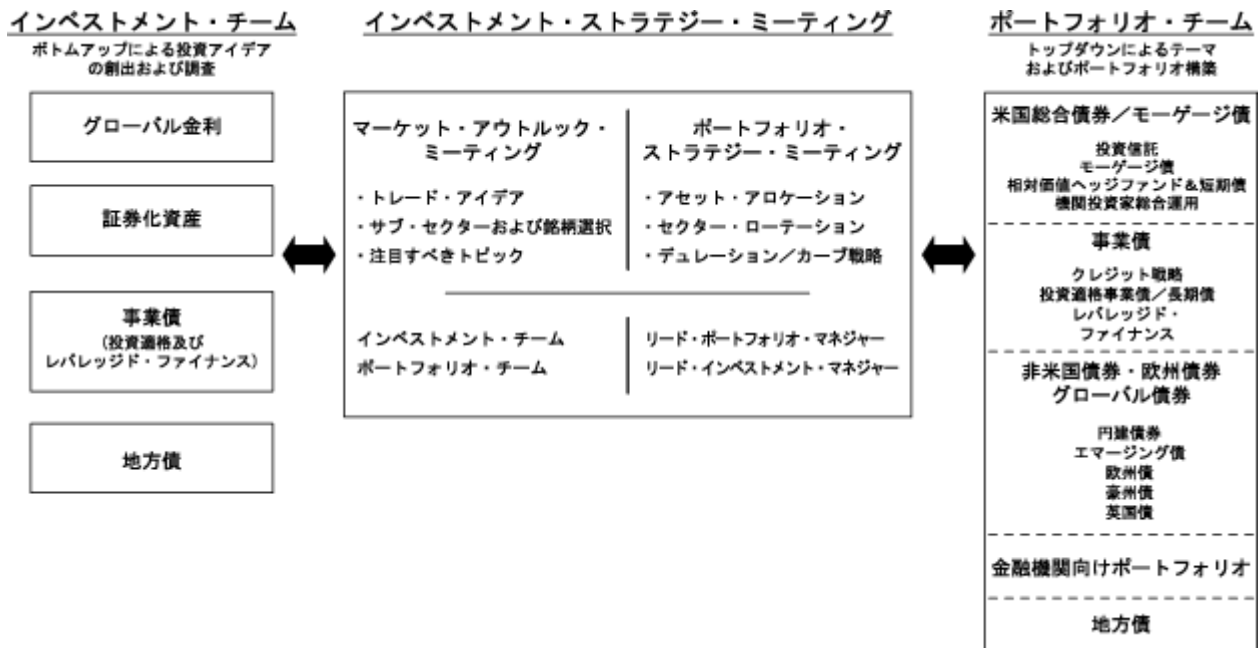
当ファンドは、運用指図に関する権限の一部をブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッドに委託しており、その債券運用チーム(約30名程度)によって運用されています。

ブラックロックの債券運用体制の特徴は、ポートフォリオ・マネジャーが協調しながら運用にあたる「チーム運用体制」を取っていることにあります。

基本戦略は、週次で行われる2つのインベストメント・ストラテジー・ミーティング（投資戦略会議）が中核となっています。マーケット・アウトルック・ミーティングには全ての債券運用プロフェッショナルが参加、各インベストメント・チームが事前に開催するチーム・ミーティングによって導き出された見解を、各チームのリード・マネジャーが発表します。次に、全てのポートフォリオ・チームおよびインベストメント・チームのリード・マネジャーおよびリスク・クオンツ分析部門の代表者が参加するポートフォリオ・ストラテジー・ミーティングにおいて、セクター配分、ポートフォリオのリスク、投資テーマ等について議論を行います。

各ポートフォリオ・チームは、運用を担当するポートフォリオにとって適切と考える金利リスク、期限前償還リスク、利回りカーブ・リスク、信用リスク、流動性バイアス、およびセクター・アロケーションをそれぞれ独自に決定しますが、ポートフォリオ・ストラテジー・ミーティングでは各々のポートフォリオ・チームと各々の投資アイデアを共有することを主な目的とします。

ポートフォリオ・チームは、インベストメント・チームと協働して、ポートフォリオの投資目的およびガイドラインを遵守しつつ、銘柄選択、タイミング、売買執行において、チームのレラティブ・バリューによる見通しをポートフォリオに反映します。ポートフォリオ・チームは投資方針を策定し、その投資方針に基づいてインベストメント・マネジャーが売買を執行します。投資テーマについては、週次で開催されるミーティングで定期的かつ継続的に議論され、必要に応じて修正されます。



運用体制は、変更となる場合があります。

## ブラックロック・グループ

ブラックロック・グループは、運用資産残高約3.35兆ドル<sup>\*</sup>(約258兆円)を持つ世界最大級の独立系資産運用グループであり、当社はその日本法人です。

当グループは、世界各国の機関投資家及び個人投資家のため、株式、債券、キャッシュ・マネジメント及びオルタナティブ商品といった様々な資産クラスの運用を行っております。また、機関投資家向けに、リスク管理、投資システム・アウトソーシング及びファイナンシャル・アドバイザー・サービスの提供を行っております。

\* 2011年9月末現在。(円換算レートは1ドル=77.08円を使用)

### (4)【分配方針】

#### 収益分配方針

年2回の毎決算時(3月15日、9月15日、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。

##### a. 分配対象額の範囲

分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買損益(評価損益も含みます。)等の全額とすることができます。

##### b. 分配対象収益についての分配方針

分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

##### c. 留保益の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

信託財産から生じる毎計算期末における利益は、次の方法により処理するものとします。

a. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額(「配当等収益」といいます。)は、諸経費、信託報酬(消費税に相当する金額および地方消費税に相当する金額(以下「消費税等相当額」といいます。))を含みます。以下同じ。)を控除した後、その残額を投資者に分配することができます。なお、次期以降の分配に充てるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

b. 売買損益に評価損益を加減した利益金額(「売買益」といいます。)は、諸経費、信託報酬を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、その残額を投資者に分配することができます。なお、次期以降の分配金に充てるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

c. 毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越すものとします。

## 収益分配金の再投資

受託会社が委託会社の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が販売会社に支払われます。販売会社は、累積投資契約に基づき、投資者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行います。当該売付けにより増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

## (5)【投資制限】

### 各ファンドの投資制限

「各ファンド共通(ただし、特に記載のある場合を除きます。)」

#### a．投資する株式等の範囲(約款第18条)

(a) 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するもの、その他投資信託協会の規則により投資することが認められているものとし、ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。

(b) (a)にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとし、

#### b．投資する株式等への投資比率の制限(運用の基本方針 2．運用方法 (3)投資制限、約款第16条第3項)

株式(新株引受権証券を含みます。)への実質投資割合<sup>\*</sup>は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。

<sup>\*</sup> 「実質投資割合」とは、ファンドの信託財産の純資産総額に対する、ファンドの信託財産に属する各種の資産の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該資産の時価総額のうちファンドの信託財産に属するとみなした額との合計額の割合を意味します。以下同じ。

#### c．同一銘柄の株式等への投資制限(運用の基本方針 2．運用方法 (3)投資制限 および、約款第19条)

(a) 同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

(b) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

## d. 同一銘柄の転換社債等への投資制限(運用の基本方針 2 . 運用方法 (3)投資制限 、約款第23条)

同一銘柄の転換社債ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。)への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

## e. 外貨建資産への投資制限(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限 )

外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

## f. 特別な場合の外貨建有価証券への投資制限(約款第28条)

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由により、特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

## g. 投資する投資信託証券への投資制限(運用の基本方針 2 . 運用方法 (3)投資制限 、約款第16条第5項)

投資信託証券(親投資信託は除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

## h. 信用取引の指図範囲(約款第20条)

(a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。

(b) (a)の信用取引の指図は、当該売り付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

(c) 換金等の事由により、(b)の売り付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

## i. 先物取引の運用指図(約款第21条)

(a) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めるものとします(以下同じ。)

- (b) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の取引所における通貨に係る先物取引ならびに外国の取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- (c) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

j . スワップ取引の運用指図(約款第22条)

- (a) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行うことの指図をすることができます。
- (b) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (c) スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額と親投資信託の信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額(以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。)が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、換金等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- (d) 親投資信託の信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、親投資信託の信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額に親投資信託の信託財産の純資産総額に占める信託財産に属する親投資信託の受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。
- (e) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (f) 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

k . 金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引の運用範囲(約款第24条)

- (a) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (b) 金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。



- (c) 委託会社は、金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

l . 有価証券の貸付けの指図(約款第25条)

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
- イ . 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
- ロ . 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- (b) (a)各号に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (c) 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

m . 公社債の空売りの指図範囲(約款第26条)

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決済については、公社債(信託財産により借入れた公社債を含みます。)の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (b) (a)の売り付けの指図は、当該売り付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (c) 換金等の事由により、前項の売り付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

n . 公社債の借入れ(約款第27条)

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認められた時は、担保の提供の指図を行うものとします。
- (b) (a)の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (c) 換金等の事由により、前項の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (d) (a)の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。

## o . 外国為替予約の指図(約款第29条)

「為替ヘッジなし」

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (b) (a)の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と売予約の合計額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (c) (b)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

「為替ヘッジあり」

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産と親投資信託の信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属する親投資信託の時価総額に親投資信託の信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

## p . 資金借入れ(約款第37条)

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、換金に伴う支払資金の手当て(換金に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (b) 換金に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の換金代金入金日までの間もしくは投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却または換金代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- (c) 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- (d) 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

## 各マザーファンドの投資制限

「各マザーファンド共通(ただし、特に記載のある場合を除きます。)」

## a. 投資する株式等の範囲(約款第12条)

- (a) 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するもの、その他投資信託協会の規則により投資することが認められているものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
- (b) (a)にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託会社が投資することを指図することができるものとします。

## b. 投資する株式等への投資比率の制限(運用の基本方針 2. 運用方法 (3)投資制限、約款第10条第3項) 株式(新株引受権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。

## c. 同一銘柄の株式等への投資制限(運用の基本方針 2. 運用方法 (3)投資制限 および、約款第13条)

- (a) 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- (b) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

## d. 同一銘柄の転換社債等への投資制限(運用の基本方針 2. 運用方法 (3)投資制限、約款第17条)

同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

## e. 外貨建資産への投資制限(運用の基本方針 2. 運用方法 (3)投資制限 )

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## f. 特別な場合の外貨建有価証券への投資制限(約款第22条)

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由により、特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

- g. 投資する投資信託証券への投資制限(運用の基本方針 2. 運用方法 (3)投資制限、約款第10条第4項)  
投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- h. 信用取引の指図範囲(約款第14条)
- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (b) (a)の信用取引の指図は、当該売り付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (c) 換金等の事由により、(b)の売り付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。
- i. 先物取引等の運用指図(約款第15条)
- (a) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。 )および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。 )ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします(以下同じ。 )。
- (b) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の取引所における通貨に係る先物取引ならびに外国の取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。
- (c) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用のため、わが国の取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- j. スワップ取引の運用指図(約款第16条)
- (a) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。 )を行うことの指図をすることができます。
- (b) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

- (c) スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の合計額(「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。)が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、換金等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- (d) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (e) 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- k . 金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引の運用範囲(約款第18条)
- (a) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (b) 金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (c) 委託会社は、金利先渡取引、為替先渡取引および直物為替先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- l . 有価証券の貸付けの指図(約款第19条)
- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
- イ . 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
- ロ . 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- (b) (a)各号に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (c) 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- m . 公社債の空売りの指図範囲(約款第20条)
- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売り付けの決済については、公社債(信託財産により借入れた公社債を含みます。)の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができます。

- (b) (a)の売り付けの指図は、当該売り付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (c) 換金等の事由により、前項の売り付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売り付けの一部を決済するための指図をするものとします。

n . 公社債の借入れ(約款第21条)

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認められた時は、担保の提供の指図を行うものとします。
- (b) (a)の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (c) 換金等の事由により、前項の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (d) (a)の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。

o . 外国為替予約の指図(約款第23条)

「マザーファンド(為替ヘッジなし)」

- (a) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、ならびに信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (b) (a)の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と売予約の合計額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- (c) (b)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

「マザーファンド(為替ヘッジあり)」

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

## 投信法等関係法令で定める投資制限

## a．デリバティブ取引の制限(金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号)

委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が、当該信託財産の純資産総額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引(新株予約権証券またはオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引および選択権付債券売買を含む)を行い、または継続することを内容とした運用を行わないものとする。

## b．同一の法人の発行する株式(投信法第9条)

委託会社は、同一の法人の発行する株式について、次の(a)の数が(b)の数を超えることとなる場合には、当該株式を信託財産で取得することを受託会社に指図しないものとします。

(a) 委託会社が運用の指図を行うすべてのファンドで保有する当該株式に係る議決権の総数

(b) 当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数

### 3【投資リスク】

#### (1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様には帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

#### 基準価額の変動要因

##### a．金利変動リスク

当ファンドおよびマザーファンドは、世界の債券に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### b．信用リスク

当ファンドおよびマザーファンドは、世界の債券に投資します。投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、債券の格付の変更により債券の価格が変動することがあり、それに伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### c．為替変動リスク

当ファンドおよびマザーファンドは、外貨建資産に投資を行います。

「為替ヘッジなし」は、原則として、外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

「為替ヘッジあり」は、円ベースでの収益の確保を目指し、原則として為替ヘッジを行いますが、投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジすることはできません。またヘッジ対象通貨と円との金利差相当分のヘッジ・コストがかかります。

##### d．期限前償還リスク

当ファンドおよびマザーファンドは、MBS、CMB S、ABS等(資産担保証券)の期限前償還リスクを伴う債券へ投資することができます。一般的に金利が低下した場合、資産担保証券の期限前償還が増加することにより、事前に見込まれた収益をあげることができず、さらに利回りの低い証券に再投資せざるを得ない可能性があります。これらの要因が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### e．カンントリー・リスク

当ファンドおよびマザーファンドは、世界の債券に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、債券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。



#### f．デリバティブ取引のリスク

当ファンドおよびマザーファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から当ファンドおよびマザーファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

#### ファンド運営上のリスク

##### a．購入および換金の受付の中止・取消

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の購入および換金の受付を中止する場合があります。また、この場合、既に受付けた受益権の購入および換金の受付についても取り消す場合があります。

##### b．ファンドの繰上償還

各ファンドは換金により受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等は、信託期間の途中でもファンドを償還させる場合があります。

##### c．法令・税制・会計等の変更

法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

#### (2) リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

リスクの管理体制は、変更となる場合があります。

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】

購入時の申込手数料（以下、「購入時手数料」といいます。）は、購入受付日の翌営業日の基準価額の3.15%（税抜3.00%）を上限として、販売会社により独自に定めることができます。詳細は、販売会社にお問い合わせください。

販売会社につきましては下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス：<http://www.blackrock.co.jp>

なお、購入時手数料には消費税等相当額が含まれています。（以下同じ。）

累積投資契約に基づく収益分配金の再投資は無手数料となります。

## (2)【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

## (3)【信託報酬等】

信託報酬の総額

計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.344%（税抜1.28%）以内の率を乗じて得た額とします。

信託報酬に係る委託会社、販売会社、受託会社間の配分は次の通りとします。

信託財産の純資産総額に対して	委託会社	販売会社	受託会社	合計
純資産総額が650億円以下の部分	年0.6615% （税抜0.63%）	年0.63% （税抜0.6%）	年0.0525% （税抜0.05%）	年1.344% （税抜1.28%）
650億円超1,000億円以下の部分	（同上）	（同上）	年0.042% （税抜0.04%）	年1.3335% （税抜1.27%）
1,000億円超の部分	（同上）	（同上）	年0.0315% （税抜0.03%）	年1.323% （税抜1.26%）

委託会社への報酬には、投資顧問会社への報酬額が含まれます。

信託報酬の支払時期と支払方法

毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとします。

委託会社および販売会社に対する信託報酬は、ファンドから委託会社に対して支弁されます。信託報酬の販売会社への配分は、ファンドから委託会社に支弁された後、委託会社より販売会社に対して支払われます。受託会社の報酬は、ファンドから受託会社に対して支弁されます。

**(4)【その他の手数料等】**

信託財産において換金代金等の支払資金に不足が生じるときに資金借入れの指図を行った場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息(以下「諸経費」といいます。)は、投資者の負担とし、信託財産中から支弁します。

ファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額を含みます。)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用は信託財産中より支弁します。

信託財産の財務諸表の監査および目論見書等の作成・交付等に要する費用は、委託会社の負担とします。

**(5)【課税上の取扱い】**

日本の居住者(法人を含む。)である投資者に対する課税については、以下のような取扱いとなります。

個別元本方式について

- a. 追加型株式投資信託について、投資者毎の信託時の受益権の価額等(購入時手数料は含まれません。)が当該投資者の元本(「個別元本」といいます。)にあたります。
- b. 投資者が同一ファンドの受益権を複数回購入した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行うつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- c. 同一ファンドを複数の販売会社で購入する場合には各販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを購入する場合は当該支店等毎に個別元本の算出が行われる場合があります。
- d. 投資者が特別分配金を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。(「特別分配金」については、下記「収益分配金の課税について」をご覧ください。)

換金時および償還時の課税について

- a. 個人の投資者の場合  
換金時および償還時の差益(譲渡益)が課税対象となります。
- b. 法人の投資者の場合  
換金時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

## 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」（投資者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が特別分配金となり、当該収益分配金から当該特別分配金を控除した額が普通分配金となります。

なお、投資者が特別分配金を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本とします。

## 個人、法人の課税の取扱いについて

### a．個人の投資者に対する課税

#### (a) 収益分配金の課税について

支払いを受ける収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、平成21年1月1日から平成25年12月31日までの間については、10%（所得税7%、地方税3%）の軽減税率により、また平成26年1月1日以降については20%（所得税15%、地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。原則として、申告は不要です。

また、確定申告を行うことにより総合課税（配当控除なし）と申告分離課税（平成25年12月31日までは10%（所得税7%および地方税3%）、平成26年1月1日以降は20%（所得税15%および地方税5%））のいずれかを選択することができます。

#### (b) 換金時および償還時の差益の課税について

換金時および償還時の差益（換金価額および償還価額から購入費用（購入時手数料および当該購入時手数料にかかる消費税等相当額を含みます。）を控除した利益）は、譲渡益として課税対象（譲渡所得等）となり、申告分離課税が適用されます。

その税率は平成21年1月1日から平成25年12月31日までの間については、10%（所得税7%および地方税3%）の軽減税率により、また平成26年1月1日以降については、20%（所得税15%および地方税5%）の税率が適用されます。

原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収口座）の利用が可能な場合があります。

換金時および償還時に損失（譲渡損）が生じた場合には、確定申告することで、他の株式等の譲渡益および上場株式等の配当所得の金額（申告分離課税を選択したものに限り、）との損益通算ならびに3年間の繰越控除の対象とすることができます。

また、換金時および償還時の差益（譲渡益）については、他の株式等の譲渡損と損益を相殺することができます。

**b. 法人の投資者に対する課税**

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額については、7%(所得税7%、地方税の源泉徴収はありません。)の税率による源泉徴収が行われます。

なお、当ファンドについては、法人税の課税対象となりますが、益金不算入制度の適用はありません。  
平成26年1月1日以降は、上記の7%の税率は、15%(所得税15%、地方税の源泉徴収はありません。)になります。

なお、税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。  
課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家に確認されることをお勧めいたします。

## 5【運用状況】

「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）」

(1)【投資状況】(平成23年9月末現在)

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	1,072,590,020	100.06
内 日本	1,072,590,020	100.06
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	592,630	0.06
純資産総額	1,071,997,390	100.00

(注) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## マザーファンド

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
国債証券	12,546,899,606	77.99
内 日本	7,243,383,198	45.02
内 ユーロ	2,992,065,120	18.60
内 アメリカ	1,180,748,109	7.34
内 イギリス	585,749,867	3.64
内 カナダ	300,327,574	1.87
内 デンマーク	166,151,668	1.03
内 ポーランド	78,474,070	0.49
地方債証券	210,359,094	1.31
内 ユーロ	210,359,094	1.31
特殊債券	497,664,255	3.09
内 オーストラリア	173,712,652	1.08
内 カナダ	143,530,086	0.89
内 アメリカ	105,776,329	0.66
内 ユーロ	74,645,188	0.46
社債券	2,654,797,111	16.50
内 アメリカ	1,310,155,947	8.14
内 ユーロ	1,056,006,687	6.56
内 イギリス	159,136,301	0.99
内 スウェーデン	89,798,950	0.56
内 オーストラリア	38,682,857	0.24
内 デンマーク	1,016,369	0.01
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	178,073,802	1.11
純資産総額	16,087,793,868	100.00

(注1) 当ファンドは、ファミリーファンド方式による運用を行っているため、実質の運用はマザーファンドにおいて行っております。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## (2) 【投資資産】（平成23年9月末現在）

## 【投資有価証券の主要銘柄】

順位	銘柄	国/地域	種類	数量(口)	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資比率 (%)
1	ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジなし）	日本	親投資信託 受益証券	905,368,465	1.1908	1,078,203,199	1.1847	1,072,590,020	100.06

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.06

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(参考情報)

ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジなし)(平成23年9月末現在)

投資有価証券の主要銘柄

順位	銘柄	国/地域	償還日	利率 (%)	種類	数量	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	151 国庫短期証券	日本	2011/ 11/21		国債証券	3,480,000,000	99.98	3,479,441,320	99.98	3,479,551,080	21.63
2	99 20年国債	日本	2027/ 12/20	2.100000	国債証券	1,209,000,000	102.81	1,242,987,830	107.40	1,298,490,180	8.07
3	303 10年国債	日本	2019/ 9/20	1.400000	国債証券	1,126,000,000	103.38	1,164,058,800	105.11	1,183,628,680	7.36
4	BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND 2.25% 2021/9/4	ユーロ	2021/ 9/4	2.250000	国債証券	648,188,860	103.12	668,450,523	102.11	661,885,089	4.11
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.125% 2021/8/15	アメリカ	2021/ 8/15	2.125000	国債証券	583,459,800	102.29	596,864,002	101.49	592,165,020	3.68
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.75% 2041/8/15	アメリカ	2041/ 8/15	3.750000	国債証券	445,873,050	100.97	450,220,697	114.76	511,706,205	3.18
7	309 10年国債	日本	2020/ 6/20	1.100000	国債証券	423,000,000	100.34	424,441,880	102.02	431,569,980	2.68
8	UNITED KINGDOM GILT 4.25% 2040/12/7	イギリス	2040/ 12/7	4.250000	国債証券	373,083,550	99.54	371,394,534	110.91	413,824,273	2.57
9	310 10年国債	日本	2020/ 9/20	1.000000	国債証券	387,000,000	98.39	380,769,300	100.87	390,366,900	2.43
10	BUONI POLIENNALI DEL TES 3% 2015/11/1	ユーロ	2015/ 11/1	3.000000	国債証券	371,152,150	93.21	345,974,056	93.42	346,756,319	2.16
11	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 4.75% 2021/9/1	ユーロ	2021/ 9/1	4.750000	国債証券	273,392,860	98.17	268,406,174	94.36	257,989,906	1.60
12	BUNDESobligation 2.75% 2016/4/8	ユーロ	2016/ 4/8	2.750000	国債証券	221,858,410	107.89	239,373,465	107.00	237,410,684	1.48
13	CANADIAN GOVERNMENT BOND 3.25% 2021/6/1	カナダ	2021/ 6/1	3.250000	国債証券	216,658,130	103.83	224,971,790	108.98	236,124,862	1.47
14	89 20年国債	日本	2026/ 6/20	2.200000	国債証券	212,550,000	105.35	223,932,052	109.75	233,286,378	1.45
15	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 4% 2037/1/4	ユーロ	2037/ 1/4	4.000000	国債証券	189,802,941	114.33	217,008,821	122.06	231,692,450	1.44
16	39 15年国債FR	日本	2021/ 3/20	0.640000	国債証券	220,000,000	101.15	222,530,000	102.95	226,490,000	1.41
17	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 5% 2039/8/1	ユーロ	2039/ 8/1	5.000000	国債証券	249,655,780	89.81	224,227,035	82.25	205,351,865	1.28
18	JPMORGAN CHASE & CO 3.625% 2011/12/12	ユーロ	2011/ 12/12	3.625000	社債券	182,192,500	101.54	185,016,483	100.37	182,883,009	1.14
19	FRANCE (GOVT OF) 3.75% 2021/4/25	ユーロ	2021/ 4/25	3.750000	国債証券	166,055,450	104.46	173,473,516	109.45	181,760,974	1.13
20	SPAIN GOVERNMENT BOND 4% 2020/4/30	ユーロ	2020/ 4/30	4.000000	国債証券	190,521,300	89.69	170,888,326	94.71	180,457,964	1.12
21	DENMARK GOVERNMENT BOND 7% 2024/11/10	デンマ ク	2024/ 11/10	7.000000	国債証券	110,493,020	152.24	168,225,622	150.37	166,151,668	1.03
22	CDP FINANCIAL INC 3% 2014/11/25	アメリカ	2014/ 11/25	3.000000	社債券	137,970,000	101.98	140,714,223	104.97	144,831,248	0.90
23	KREDITANSTALT FUER WIEDERAUFBAU 4.375% 2016/2/9	カナダ	2016/ 2/9	4.375000	特殊債券	130,187,200	105.93	137,920,319	110.24	143,530,086	0.89
24	GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE 3.5% 2011/12/8	ユーロ	2011/ 12/8	3.500000	社債券	139,923,840	101.44	141,944,340	100.26	140,291,839	0.87
25	RABOBANK NEDERLAND 4.125% 2012/4/4	ユーロ	2012/ 4/4	4.125000	社債券	135,343,000	102.33	138,503,259	101.18	136,944,107	0.85
26	BELGIUM GOVERNMENT BOND 2.75% 2016/3/28	ユーロ	2016/ 3/28	2.750000	国債証券	130,658,050	97.15	126,942,135	99.71	130,288,287	0.81
27	SFEF 2.125% 2012/1/30	アメリカ	2012/ 1/30	2.125000	特殊債券	105,393,750	100.71	106,151,531	100.36	105,776,329	0.66
28	FRANCE GOVERNMENT BOND OAT 4.5% 2041/4/25	ユーロ	2041/ 4/25	4.500000	国債証券	84,953,760	119.38	101,418,885	117.95	100,211,455	0.62
29	EUROPEAN INVESTMENT BANK 6.5% 2019/8/7	オースト リア	2019/ 8/7	6.500000	特殊債券	91,707,400	100.44	92,111,829	106.52	97,693,141	0.61
30	CAJA MADRID 3.875% 2013/11/30	ユーロ	2013/ 11/30	3.875000	社債券	93,699,000	98.26	92,074,259	98.65	92,436,874	0.57

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。



## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	77.99
地方債証券	1.31
特殊債券	3.09
社債券	16.50
合計	98.89

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

種類	地域	取引所	資産の名称	買建/ 売建	数量	簿価金額(円)	評価金額(円)	投資 比率 (%)
債券先物 取引	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST 10YR BOND FUTURE DEC 11	買建	73	632,800,222	624,873,820	3.88
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 5YR NOTE (CBT) DEC 11	買建	34	319,917,950	319,267,603	1.98
	イギリス	ロンドン国際金融先物オプション取引所	LONG GILT FUTURE DEC 11	売建	1	15,595,251	15,428,771	0.10
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 2YR NOTE (CBT) DEC 11	売建	29	490,011,473	489,478,505	3.04
	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST 3YR BOND FUTURES DEC 11	売建	67	539,128,073	537,278,761	3.34
	日本	東京証券取引所	長国2312月限	売建	4	570,360,000	568,920,000	3.54
	ユーロ	ユーレックス	EURO-SCHATZ FUTURE DEC 11	売建	54	617,182,299	615,742,978	3.83

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

(注2) 評価金額は、当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。

(注3) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## (3)【運用実績】

## 【純資産の推移】

平成23年9月末現在、同日前1年以内における各月末および直近20計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額(円)		1口当たりの純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第7期(平成14年3月15日)	1,026,865,425	(同左)	0.8639	(同左)
第8期(平成14年9月17日)	923,516,667	933,794,845	0.8985	0.9085
第9期(平成15年3月17日)	1,643,810,174	1,652,621,512	0.9328	0.9378
第10期(平成15年9月16日)	2,360,067,190	2,375,343,776	0.9269	0.9329
第11期(平成16年3月15日)	2,257,053,439	2,281,236,682	0.9333	0.9433
第12期(平成16年9月16日)	2,029,814,079	2,051,870,670	0.9203	0.9303
第13期(平成17年3月15日)	1,976,966,731	1,998,013,939	0.9393	0.9493
第14期(平成17年9月15日)	1,971,097,207	1,991,497,439	0.9662	0.9762
第15期(平成18年3月15日)	2,027,671,867	2,048,204,888	0.9875	0.9975
第16期(平成18年9月15日)	2,037,957,155	2,058,108,947	1.0113	1.0213
第17期(平成19年3月15日)	1,941,490,871	1,960,461,028	1.0234	1.0334
第18期(平成19年9月18日)	1,980,496,845	1,990,088,272	1.0324	1.0374
第19期(平成20年3月17日)	1,923,933,751	(同左)	0.9895	(同左)
第20期(平成20年9月16日)	1,658,417,843	(同左)	0.9773	(同左)
第21期(平成21年3月16日)	1,404,331,882	(同左)	0.9082	(同左)
第22期(平成21年9月15日)	1,380,636,656	(同左)	0.9367	(同左)
第23期(平成22年3月15日)	1,375,283,548	(同左)	0.9206	(同左)
第24期(平成22年9月15日)	1,117,962,143	(同左)	0.8933	(同左)
第25期(平成23年3月15日)	1,027,059,020	(同左)	0.8734	(同左)
第26期(平成23年9月15日)	1,078,657,175	(同左)	0.8539	(同左)
平成22年9月末現在	1,136,618,179		0.9038	
平成22年10月末現在	1,088,275,954		0.8828	
平成22年11月末現在	1,075,735,070		0.8753	
平成22年12月末現在	1,023,544,896		0.8536	
平成23年1月末現在	1,038,072,264		0.8646	
平成23年2月末現在	1,025,629,436		0.8657	
平成23年3月末現在	1,064,129,580		0.8842	
平成23年4月末現在	1,075,262,312		0.8963	
平成23年5月末現在	1,076,485,630		0.8852	
平成23年6月末現在	1,105,484,701		0.8811	
平成23年7月末現在	1,108,533,532		0.8599	
平成23年8月末現在	1,100,420,777		0.8672	
平成23年9月末現在	1,071,997,390		0.8489	

## 【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第7期	
第8期	0.0100
第9期	0.0050
第10期	0.0060
第11期	0.0100
第12期	0.0100
第13期	0.0100
第14期	0.0100
第15期	0.0100
第16期	0.0100
第17期	0.0100
第18期	0.0050
第19期	
第20期	
第21期	
第22期	
第23期	
第24期	
第25期	
第26期	

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第7期	3.5
第8期	5.2
第9期	4.4
第10期	0.0
第11期	1.8
第12期	0.3
第13期	3.2
第14期	3.9
第15期	3.2
第16期	3.4
第17期	2.2
第18期	1.4
第19期	4.2
第20期	1.2
第21期	7.1
第22期	3.1
第23期	1.7
第24期	3.0
第25期	2.2
第26期	2.2

(注) 収益率とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数です。

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)	発行済数量(口)
第7期	111,091,123	319,353,262	1,188,664,882
第8期	56,203,499	217,050,531	1,027,817,850
第9期	1,008,822,915	274,373,120	1,762,267,645
第10期	1,292,610,921	508,780,804	2,546,097,762
第11期	213,514,087	341,287,451	2,418,324,398
第12期	103,188,676	315,853,929	2,205,659,145
第13期	294,938,567	395,876,846	2,104,720,866
第14期	121,951,801	186,649,386	2,040,023,281
第15期	197,621,249	184,342,414	2,053,302,116
第16期	300,540,523	338,663,350	2,015,179,289
第17期	285,050,345	403,213,911	1,897,015,723
第18期	313,382,173	292,112,352	1,918,285,544
第19期	196,744,872	170,661,791	1,944,368,625
第20期	54,643,738	302,051,114	1,696,961,249
第21期	86,005,839	236,631,329	1,546,335,759
第22期	100,394,886	172,764,087	1,473,966,558
第23期	77,706,970	57,724,780	1,493,948,748
第24期	13,146,581	255,585,389	1,251,509,940
第25期	62,803,065	138,414,807	1,175,898,198
第26期	158,706,991	71,330,030	1,263,275,159

## 「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）」

## (1) 投資状況(平成23年9月末現在)

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	538,493,138	100.06
内 日本	538,493,138	100.06
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	297,247	0.06
純資産総額	538,195,891	100.00

(注) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## マザーファンド

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
国債証券	5,050,978,000	76.44
内 日本	2,871,096,427	43.45
内 ユーロ	1,201,860,217	18.19
内 アメリカ	478,010,801	7.23
内 イギリス	282,722,545	4.28
内 カナダ	117,948,282	1.78
内 デンマーク	67,950,100	1.03
内 ポーランド	31,389,628	0.48
地方債証券	53,198,017	0.81
内 ユーロ	53,198,017	0.81
特殊債券	158,070,012	2.39
内 オーストラリア	66,337,126	1.00
内 カナダ	61,978,900	0.94
内 ユーロ	29,753,986	0.45
社債券	941,387,140	14.25
内 アメリカ	503,157,485	7.61
内 ユーロ	376,926,527	5.70
内 イギリス	60,901,761	0.92
内 デンマーク	401,367	0.01
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	404,149,505	6.12
純資産総額	6,607,782,674	100.00

(注1) 当ファンドは、ファミリーファンド方式による運用を行っているため、実質の運用はマザーファンドにおいて行っております。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## (2) 投資資産(平成23年9月末現在)

## 投資有価証券の主要銘柄

順位	銘柄	国/地域	種類	数量(口)	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資比率 (%)
1	ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジあり)	日本	親投資信託 受益証券	431,277,542	1.2469	537,759,976	1.2486	538,493,138	100.06

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.06

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報)

ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジあり）（平成23年9月末現在）

投資有価証券の主要銘柄

順位	銘柄	国/地域	償還日	利率(%)	種類	数量	簿価 単価 (円)	簿価金額 (円)	評価 単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	151 国庫短期証券	日本	2011/ 11/21		国債証券	1,440,000,000	99.98	1,439,768,960	99.98	1,439,814,240	21.79
2	99 20年国債	日本	2027/ 12/20	2.100000	国債証券	492,250,000	102.96	506,826,857	107.40	528,686,345	8.00
3	303 10年国債	日本	2019/ 9/20	1.400000	国債証券	444,000,000	103.38	459,007,200	105.11	466,723,920	7.06
4	BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND 2.25% 2021/9/4	ユーロ	2021/ 9/4	2.250000	国債証券	274,642,180	103.14	283,272,128	102.11	280,445,368	4.24
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.125% 2021/8/15	アメリカ	2021/ 8/15	2.125000	国債証券	240,604,350	102.20	245,904,011	101.49	244,194,166	3.70
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.75% 2041/8/15	アメリカ	2041/ 8/15	3.750000	国債証券	177,751,350	100.98	179,499,560	114.76	203,996,336	3.09
7	309 10年国債	日本	2020/ 6/20	1.100000	国債証券	159,000,000	100.22	159,362,900	102.02	162,221,340	2.46
8	UNITED KINGDOM GILT 4.25% 2040/12/7	イギリス	2040/ 12/7	4.250000	国債証券	139,172,740	99.91	139,050,739	110.91	154,370,403	2.34
9	BUONI POLIENNALI DEL TES 3% 2015/11/1	ユーロ	2015/ 11/1	3.000000	国債証券	146,482,770	92.92	136,118,988	93.42	136,854,457	2.07
10	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 4.75% 2021/9/1	ユーロ	2021/ 9/1	4.750000	国債証券	121,288,150	98.08	118,962,297	94.36	114,454,775	1.73
11	310 10年国債	日本	2020/ 9/20	1.000000	国債証券	107,000,000	98.39	105,277,300	100.87	107,930,900	1.63
12	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 4% 2037/1/4	ユーロ	2037/ 1/4	4.000000	国債証券	78,503,104	113.76	89,312,427	122.06	95,828,738	1.45
13	CANADIAN GOVERNMENT BOND 3.25% 2021/6/1	カナダ	2021/ 6/1	3.250000	国債証券	84,547,710	104.73	88,552,364	108.98	92,144,321	1.39
14	BUNDESobligation 2.75% 2016/4/8	ユーロ	2016/ 4/8	2.750000	国債証券	80,997,580	107.81	87,329,524	107.00	86,675,510	1.31
15	89 20年国債	日本	2026/ 6/20	2.200000	国債証券	75,950,000	105.35	80,017,122	109.75	83,359,682	1.26
16	39 15年国債FR	日本	2021/ 3/20	0.640000	国債証券	80,000,000	101.15	80,920,000	102.95	82,360,000	1.25
17	UNITED KINGDOM GILT 4.5% 2013/3/7	イギリス	2013/ 3/7	4.500000	国債証券	76,173,720	105.73	80,543,806	105.59	80,439,448	1.22
18	FRANCE (GOVT OF) 3.75% 2021/4/25	ユーロ	2021/ 4/25	3.750000	国債証券	71,003,020	104.42	74,146,713	109.45	77,718,485	1.18
19	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 5% 2039/8/1	ユーロ	2039/ 8/1	5.000000	国債証券	92,970,230	89.81	83,500,370	82.25	76,471,732	1.16
20	JPMORGAN CHASE & CO 3.625% 2011/12/12	ユーロ	2011/ 12/12	3.625000	社債券	72,877,000	101.54	74,006,593	100.37	73,153,203	1.11
21	SPAIN GOVERNMENT BOND 4% 2020/4/30	ユーロ	2020/ 4/30	4.000000	国債証券	72,252,340	89.40	64,598,644	94.71	68,435,971	1.04
22	DENMARK GOVERNMENT BOND 7% 2024/11/10	デンマ ーク	2024/ 11/10	7.000000	国債証券	45,187,700	152.24	68,798,273	150.37	67,950,100	1.03
23	KREDITANSTALT FUER WIEDERAUFBAU 4.375% 2016/2/9	カナダ	2016/ 2/9	4.375000	特殊債券	56,217,200	105.93	59,556,501	110.24	61,978,900	0.94
24	CDP FINANCIAL INC 3% 2014/11/25	アメリカ	2014/ 11/25	3.000000	社債券	53,655,000	101.98	54,722,197	104.97	56,323,263	0.85
25	GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE 3.5% 2011/12/8	ユーロ	2011/ 12/8	3.500000	社債券	54,449,530	101.44	55,235,781	100.26	54,592,732	0.83
26	BELGIUM GOVERNMENT BOND 2.75% 2016/3/28	ユーロ	2016/ 3/28	2.750000	国債証券	50,493,350	97.15	49,057,319	99.71	50,350,453	0.76
27	UNITED KINGDOM GILT 1.75% 2017/1/22	イギリス	2017/ 1/22	1.750000	国債証券	47,428,920	101.40	48,097,593	101.01	47,912,694	0.73
28	FRANCE GOVERNMENT BOND OAT 4.5% 2041/4/25	ユーロ	2041/ 4/25	4.500000	国債証券	34,980,960	119.47	41,792,980	117.95	41,263,540	0.62
29	BNP PARIBAS 2.125% 2012/12/21	アメリカ	2012/ 12/21	2.125000	社債券	38,325,000	101.61	38,943,565	98.25	37,657,378	0.57
30	EUROPEAN INVESTMENT BANK 6.5% 2019/8/7	オースト リア	2019/ 8/7	6.500000	特殊債券	35,329,900	100.44	35,485,704	106.52	37,635,882	0.57

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

(注2) 地域は発行通貨の国で区分しております。



## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	76.44
地方債証券	0.81
特殊債証券	2.39
社債券	14.25
合計	93.88

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

種類	地域	取引所	資産の名称	買建/ 売建	数量	簿価金額(円)	評価金額(円)	投資 比率 (%)
債券先物 取引	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST 10YR BOND FUTURE DEC 11	買建	30	260,075,938	256,797,460	3.89
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 5YR NOTE (CBT) DEC 11	買建	14	131,754,169	131,463,130	1.99
	イギリス	ロンドン国際金融先物オプション取引所	LONG GILT FUTURE DEC 11	売建	1	15,595,251	15,428,771	0.23
	日本	東京証券取引所	長国2312月限	売建	1	142,590,000	142,230,000	2.15
	アメリカ	シカゴ商品取引所	US 2YR NOTE (CBT) DEC 11	売建	12	202,794,342	202,542,829	3.07
	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUST 3YR BOND FUTURES DEC 11	売建	27	217,260,566	216,515,321	3.28
	ユーロ	ユーレックス	EURO-SCHATZ FUTURE DEC 11	売建	21	240,019,358	239,455,602	3.62

(注1) 投資比率は、純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

(注2) 評価金額は、当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。

(注3) 地域は発行通貨の国で区分しております。

## (3) 運用実績

## 純資産の推移

平成23年9月末現在、同日前1年以内における各月末および直近20計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額(円)		1口当たりの純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第7期(平成14年3月15日)	8,214,662,723	(同左)	0.9225	(同左)
第8期(平成14年9月17日)	7,184,972,096	7,260,578,726	0.9503	0.9603
第9期(平成15年3月17日)	7,095,891,687	7,132,834,932	0.9604	0.9654
第10期(平成15年9月16日)	7,552,257,710	7,600,852,756	0.9325	0.9385
第11期(平成16年3月15日)	7,247,365,840	7,270,533,280	0.9385	0.9415
第12期(平成16年9月16日)	5,017,971,379	5,034,121,757	0.9321	0.9351
第13期(平成17年3月15日)	4,994,513,535	5,010,487,987	0.9380	0.9410
第14期(平成17年9月15日)	4,223,920,080	4,237,057,765	0.9645	0.9675
第15期(平成18年3月15日)	3,921,851,439	3,934,238,414	0.9498	0.9528
第16期(平成18年9月15日)	3,333,641,969	(同左)	0.9418	(同左)
第17期(平成19年3月15日)	3,277,507,468	(同左)	0.9361	(同左)
第18期(平成19年9月18日)	3,192,075,766	(同左)	0.9243	(同左)
第19期(平成20年3月17日)	913,249,761	(同左)	0.9216	(同左)
第20期(平成20年9月16日)	836,635,457	(同左)	0.9056	(同左)
第21期(平成21年3月16日)	803,831,275	(同左)	0.9218	(同左)
第22期(平成21年9月15日)	734,830,453	(同左)	0.9364	(同左)
第23期(平成22年3月15日)	708,351,505	(同左)	0.9423	(同左)
第24期(平成22年9月15日)	691,062,519	(同左)	0.9742	(同左)
第25期(平成23年3月15日)	621,603,784	(同左)	0.9479	(同左)
第26期(平成23年9月15日)	539,534,126	(同左)	0.9710	(同左)
平成22年9月末現在	674,084,475		0.9784	
平成22年10月末現在	657,535,072		0.9723	
平成22年11月末現在	642,478,918		0.9553	
平成22年12月末現在	630,381,285		0.9495	
平成23年1月末現在	627,532,590		0.9473	
平成23年2月末現在	621,010,935		0.9468	
平成23年3月末現在	620,097,606		0.9456	
平成23年4月末現在	601,076,446		0.9477	
平成23年5月末現在	588,192,790		0.9557	
平成23年6月末現在	499,610,994		0.9514	
平成23年7月末現在	556,029,454		0.9530	
平成23年8月末現在	538,689,104		0.9685	
平成23年9月末現在	538,195,891		0.9718	

## 分配の推移

	1口当たりの分配金(円)
第7期	
第8期	0.0100
第9期	0.0050
第10期	0.0060
第11期	0.0030
第12期	0.0030
第13期	0.0030
第14期	0.0030
第15期	0.0030
第16期	
第17期	
第18期	
第19期	
第20期	
第21期	
第22期	
第23期	
第24期	
第25期	
第26期	

## 収益率の推移

	収益率(%)
第7期	2.0
第8期	4.1
第9期	1.6
第10期	2.3
第11期	1.0
第12期	0.4
第13期	1.0
第14期	3.1
第15期	1.2
第16期	0.8
第17期	0.6
第18期	1.3
第19期	0.3
第20期	1.7
第21期	1.8
第22期	1.6
第23期	0.6
第24期	3.4
第25期	2.7
第26期	2.4

(注) 収益率とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数です。

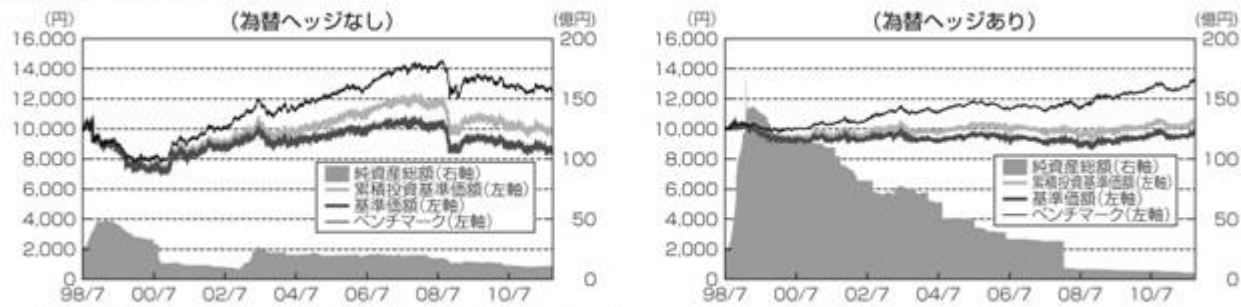
## (4) 設定及び解約の実績

	設定数量(口)	解約数量(口)	発行済数量(口)
第7期	39,912,455	2,024,619,963	8,905,140,610
第8期	18,623,740	1,363,101,327	7,560,663,023
第9期	407,610,501	579,624,494	7,388,649,030
第10期	1,163,117,400	452,591,981	8,099,174,449
第11期	232,044,929	608,739,299	7,722,480,079
第12期	41,949,570	2,380,970,013	5,383,459,636
第13期	91,367,190	150,009,267	5,324,817,559
第14期	43,352,599	988,941,512	4,379,228,646
第15期	78,430,449	328,667,361	4,128,991,734
第16期	73,803,270	663,192,953	3,539,602,051
第17期	20,605,878	58,825,747	3,501,382,182
第18期	18,530,897	66,348,863	3,453,564,216
第19期	33,405,795	2,496,003,695	990,966,316
第20期	16,187,451	83,354,504	923,799,263
第21期	12,073,588	63,843,602	872,029,249
第22期	3,994,235	91,305,691	784,717,793
第23期	18,501,692	51,507,781	751,711,704
第24期	21,713,756	64,096,668	709,328,792
第25期	0	53,556,654	655,772,138
第26期	102,296,280	202,414,462	555,653,956

（参考情報）

運用実績（2011年9月30日現在）

## 基準価額・純資産の推移



※累積投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。  
 ※ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

## 分配の推移

	第22期 2009年9月	第23期 2010年3月	第24期 2010年9月	第25期 2011年3月	第26期 2011年9月	設定来累計
(為替ヘッジなし)	0円	0円	0円	0円	0円	1,210円
(為替ヘッジあり)	0円	0円	0円	0円	0円	660円

※分配金は税引前、1万口当たり

## 主要な資産の状況

組入上位10銘柄(%)

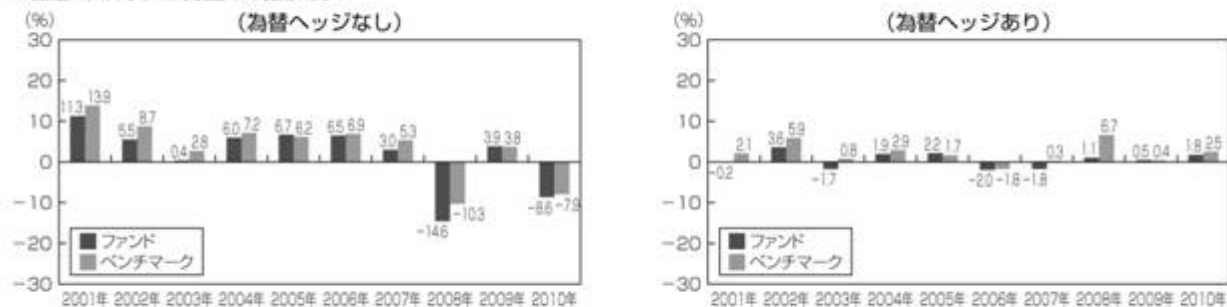
(為替ヘッジなし)					(為替ヘッジあり)				
順位	銘柄名	種別	国名	比率	順位	銘柄名	種別	国名	比率
1	151 国庫短期証券	国債	日本	21.6	1	151 国庫短期証券	国債	日本	21.8
2	99 20年国債	国債	日本	8.1	2	99 20年国債	国債	日本	8.0
3	303 10年国債	国債	日本	7.4	3	303 10年国債	国債	日本	7.1
4	BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND 2.25% 2021/9/4	国債	ドイツ	4.1	4	BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND 2.25% 2021/9/4	国債	ドイツ	4.2
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.125% 2021/8/15	国債	アメリカ	3.7	5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.125% 2021/8/15	国債	アメリカ	3.7
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.75% 2041/8/15	国債	アメリカ	3.2	6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.75% 2041/8/15	国債	アメリカ	3.1
7	309 10年国債	国債	日本	2.7	7	309 10年国債	国債	日本	2.5
8	UNITED KINGDOM GILT 4.25% 2040/12/7	国債	イギリス	2.6	8	UNITED KINGDOM GILT 4.25% 2040/12/7	国債	イギリス	2.3
9	310 10年国債	国債	日本	2.4	9	BUONI POLIENNALI DEL TES 3% 2015/11/1	国債	イタリア	2.1
10	BUONI POLIENNALI DEL TES 3% 2015/11/1	国債	イタリア	2.2	10	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO 4.75% 2021/9/1	国債	イタリア	1.7

※当ファンドのマザーファンドの運用状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## 年間収益率の推移

※ファンドの収益率は、決算時の分配金を非課税で再投資したものととして算出しています。

※直近10年間の年間収益率の推移です。



※運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではありません。

※ベンチマークはあくまでも参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページにて開示しております。

## 第2 【管理及び運営】

### 1 【申込（販売）手続等】

#### (1) 申込方法

受益権の投資者は、販売会社との間で有価証券の取引に関する契約を締結します。販売会社は有価証券の取引にかかわる約款を投資者に交付し、投資者は当該約款に基づく取引口座の設定を申込み旨の申込書を提出します。

また、当該販売会社との間で、「累積投資約款」にしたがって累積投資契約<sup>\*</sup>を締結します。

<sup>\*</sup> 販売会社によっては、当該契約または規定について、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあり、この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。

投資者は販売会社に、購入と同時にまたは予め当該投資者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該投資者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該購入の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該投資者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

#### (2) 申込期間

各ファンドの購入は、申込期間における販売会社の各営業日に、販売会社の本・支店、営業所等でお受けしています。なお、申込期間は、有価証券届出書を提出することによって更新されます。

#### (3) 受付時間

購入の受付は、申込期間中の午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。受付時間を過ぎてのお申込みは翌営業日の受付とさせていただきます。ただし、受付時間は販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

販売会社につきましては、下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

ホームページアドレス：<http://www.blackrock.co.jp>

#### (4) 購入不可日

ニューヨーク証券取引所の休場日、ニューヨークの銀行の休業日、その他米国債券市場の休日のいずれかに該当する場合には、販売会社の営業日であっても購入は受け付けません。

#### (5) 購入単位

1万円以上1円単位とします。

ただし、収益分配金再投資の場合は1円単位とします。

なお、販売会社によって上記と異なる購入単位を別に定める場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

販売会社が定時定額購入サービスを取扱う場合、当該販売会社が別に定める購入単位となる場合があります。定時定額購入サービスの取扱いの有無は販売会社により異なる場合がありますので、お申込みの販売会社にご確認ください。

#### (6) 購入価額

受益権の購入価額は、購入受付日の翌営業日の基準価額とします。なお、購入価額には購入時手数料は含まれておりません。

#### (7) 購入時手数料

購入時手数料は、購入受付日の翌営業日の基準価額の3.15%（税抜3.00%）を上限として、販売会社が独自に定めることができます。詳細は販売会社にお問い合わせください。

なお、購入時手数料には消費税に相当する金額および消費税等相当額が含まれています。

#### (8) 購入代金のお支払い

受益権の投資者は、販売会社が定める日までに購入代金（購入受付日の翌営業日の基準価額に購入口数を乗じた金額に、購入時手数料（消費税等相当額を含みます。）を加算した金額をいいます。）を販売会社に支払うものとします。

#### (9) 購入の受付の中止、既に受付けた購入の受付の取消

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、受益権の購入の受付を中止することおよび既に受付けた購入の受付を取り消すことができます。

## 2【換金（解約）手続等】

#### (1) 換金の申込と受付

投資者は、自己に帰属する受益権について、委託会社に換金の申込をすることができます。投資者が換金の申込をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

#### (2) 受付時間

換金の受付については、午後3時までに、換金の申込が行われかつ当該換金の受付にかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込受付分とします。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

## (3) 換金不可日

ニューヨーク証券取引所の休場日、ニューヨークの銀行の休業日、その他米国債券市場の休日のいずれかに該当する場合には、販売会社の営業日であっても換金は受け付けません。詳細は販売会社にお問い合わせください。

## (4) 換金単位

1口単位または1円単位とします。

なお、販売会社によって上記と異なる換金単位を別に定める場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

## (5) 換金価額

換金価額は、換金受付日の翌営業日の基準価額とします。なお手取額は、換金受付日の翌営業日の基準価額から所得税および地方税を差し引いた金額となります。

当ファンドの換金価額等につきましては販売会社または下記に問い合わせることにより知ることができます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

## (6) 換金受付の制限

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金の受付には制限があります。

## (7) 換金代金の支払い

換金代金は原則として換金受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

## (8) 換金の受付中止および取消

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、換金の受付を中止することおよび既に受付けた換金の受付を取り消すことができます。換金の受付が中止された場合には、投資者は当該受付中止以前に行った当日の換金の申込を撤回できます。ただし、投資者がその換金の申込を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金を受付けたものとします。



### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

基準価額とは、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(以下「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。)、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額(1万口当り)は委託会社の営業日に毎日算出されます。投資者は、販売会社または下記に問い合わせることにより知ることができます。

また、日々の基準価額(1万口当り)は翌日の日本経済新聞に掲載されております。

ファンド名は「世債へ無」、「世債へ有」と省略されて記載されております。

当ファンドの主たる投資対象の評価方法は以下の通りです。

マザーファンドの受益証券：原則として計算日の基準価額で評価します。

(参考)マザーファンドの主たる投資対象の評価方法

外国債券：原則として、第一種金融商品取引業者・銀行等の提示する金額(売気配相場を除く。)または価格情報会社の提供する価額で評価します。

国内債券：原則として、日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値)、第一種金融商品取引業者・銀行等の提示する金額(売気配相場を除く。)または価格情報会社の提供する価額で評価します。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス：<http://www.blackrock.co.jp>

#### (2)【保管】

該当事項はありません。

#### (3)【信託期間】

この信託の期間は、無期限とします。

#### (4)【計算期間】

計算期間は毎年3月16日から9月15日および9月16日から翌年3月15日までとすることを原則とします。各計算期間終了日に該当する日が休業日のときは該当日の翌営業日を計算期間の終了日とし、その翌日より次の期間が開始されるものとします。

## (5)【その他】

## ファンドの償還条件等

- a．委託会社は、このファンドを償還することが投資者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、このファンドを償還させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、償還しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- b．委託会社は、換金により、各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合には、受託会社と合意のうえ、このファンドを償還させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、償還しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- c．a．およびb．の場合において、委託会社は、この事項について、あらかじめ償還しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる投資者に対して交付します。ただし、この信託契約に係る全ての投資者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- d．c．の公告および書面には、投資者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べる旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- e．d．の一定の期間内に異議を述べた投資者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、a．およびb．のファンドの償還を行いません。
- f．委託会社は、このファンドの償還を行わないこととしたときは、償還しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる投資者に対して交付します。ただし、全ての投資者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- g．d．～f．までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、d．の一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。
- h．委託会社は、監督官庁よりこのファンドの償還の命令を受けたときはその命令に従い、ファンドを償還させます。
- i．委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したとき、委託会社はこのファンドを償還させます。

j . i . にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、「信託約款の変更 d . 」に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。

k . 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または投資者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、「信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこのファンドを償還させます。

#### 信託約款の変更

a . 委託会社は、投資者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは受託会社と合意の上、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。

b . 委託会社は、変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款に係る知られたる投資者に対して交付します。ただし、この信託約款に係る全ての投資者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

c . b . の公告および書面には、投資者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べる旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。

d . c . の一定の期間内に異議を述べた投資者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、信託約款の変更を行いません。

e . 委託会社は、この信託約款の変更を行わないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる投資者に対して交付します。ただし、全ての投資者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

f . 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは a . ~ e . の規定にしたがいます。

#### 運用報告書の作成

毎期決算後、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいたご住所にお届けいたします。

### 信託事務の委託

受託会社は、当ファンドにかかる信託事務の処理の一部について日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託にかかる契約書類に基づいて所定の事務を行います。

### 関係法人との契約の更改等に関する手続き

- a. 「受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約」の契約期間は1年とし、委託会社、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは、自動的に1年間延長されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様です。
- b. 「信託財産の運用指図権限委託契約」の契約期間は1年とし、委託会社または投資顧問会社から書面による契約終了の申出がない限り、自動的に1年間延長されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様です。

### 公告

委託会社が投資者に対してする公告は日本経済新聞に掲載します。

## 4【受益者の権利等】

当ファンドの受益者（投資者）の有する主な権利は次の通りです。

### (1) 収益分配金受領権

投資者は、委託会社の決定した収益分配金を、持ち分に応じて委託会社から受領する権利を有します。

受託会社が委託会社の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が販売会社に支払われます。販売会社は、累積投資契約に基づき、投資者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行います。当該売付けにより増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

### (2) 償還金受領権

投資者は、委託会社の決定した償還金を、持ち分に応じて委託会社から受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日から起算して5営業日以内）に償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者（償還日以前において換金が行われた受益権にかかる投資者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として投資者とします。）にお支払いを開始します。なお、当該投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

償還金の支払いは、販売会社において行います。

投資者が、償還金について支払開始日から10年間支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属するものとします。

(3) 受益権の換金請求権

投資者は、自己に帰属する受益権について、委託会社に換金を請求する権利を有します。

換金代金は、投資者の請求を受付けた日から起算して、原則として、5営業日目から投資者に支払います。

換金の請求を行う投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該投資者の請求に係るこのファンドの換金を委託会社が行うのと引き換えに、当該換金に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

(4) 反対者の買取請求権

ファンドの償還または信託約款の変更を行う場合において、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた投資者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

(5) 帳簿書類の閲覧または謄写の請求権

投資者は、委託会社に対し、その営業時間内に当ファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

### 第3 【ファンドの経理状況】

(1) 「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」及び「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)」の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)及び同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」及び「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)」は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第25期計算期間(平成22年9月16日から平成23年3月15日まで)及び第26期計算期間(平成23年3月16日から平成23年9月15日まで)財務諸表について、あらた監査法人による監査を受けております。

(3) 「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)」及び「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)」は、ファミリーファンド方式により運用を行っておりますので、参考情報として「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジなし)」及び「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジあり)」の貸借対照表、注記表及び附属明細表を記載しております。

なお、当該参考情報は監査意見の対象外となっております。

## 1【財務諸表】

## 【ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）】

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	1,034,159,013	1,085,974,371
未収入金	168,583	-
流動資産合計	1,034,327,596	1,085,974,371
資産合計	1,034,327,596	1,085,974,371
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	168,583	-
未払受託者報酬	277,309	285,787
未払委託者報酬	6,822,684	7,031,409
流動負債合計	7,268,576	7,317,196
負債合計	7,268,576	7,317,196
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	1,175,898,198	1,263,275,159
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	148,839,178	184,617,984
（分配準備積立金）	120,618,174	125,104,179
元本等合計	1,027,059,020	1,078,657,175
純資産合計	1,027,059,020	1,078,657,175
負債純資産合計	1,034,327,596	1,085,974,371

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
営業収益		
有価証券売買等損益	17,314,231	17,444,577
営業収益合計	17,314,231	17,444,577
営業費用		
受託者報酬	277,309	285,787
委託者報酬	6,822,684	7,031,409
営業費用合計	7,099,993	7,317,196
営業損失( )	24,414,224	24,761,773
経常損失( )	24,414,224	24,761,773
当期純損失( )	24,414,224	24,761,773
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	1,899,227	198,231
期首剰余金又は期首欠損金( )	133,547,797	148,839,178
剰余金増加額又は欠損金減少額	14,775,481	9,016,899
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	14,775,481	9,016,899
剰余金減少額又は欠損金増加額	7,551,865	19,835,701
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	7,551,865	19,835,701
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	148,839,178	184,617,984



## (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、当該親投資信 託受益証券の基準価額で時価評価し ております。	親投資信託受益証券 同左
2 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益の計上基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	第25期 (平成23年 3月15日現在)	第26期 (平成23年 9月15日現在)
1 当該計算期間の末日にお ける受益権総数	1,175,898,198口	1,263,275,159口
2 投資信託財産の計算に関 する規則第55条の6第10 号に規定する額	元本の欠損  148,839,178円	元本の欠損  184,617,984円
3 1口当たり純資産額	0.8734円	0.8539円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 資産運用の権限を再委託 する場合の当該委託費用	1,397,986円	1,440,763円
2 分配金の計算過程	第25期計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(136,729,518円)、分配準備積立金(120,618,174円)により、分配対象収益は257,347,692円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。	第26期計算期末における、費用控除後の配当等収益(5,694,098円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(163,753,113円)、分配準備積立金(119,410,081円)により、分配対象収益は288,857,292円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。

## (税効果会計に関する注記)

第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
該当事項はありません。	同左

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

<p style="text-align: center;">第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)</p>	<p style="text-align: center;">第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)</p>
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は親投資信託受益証券であります。 当ファンドの主な投資リスクとして、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「期限前償還リスク」、「カントリー・リスク」「デリバティブ取引のリスク」等があります。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 (1) 市場リスクの管理 ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。</p> <p>(2) 信用リスクの管理 ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 (1) 市場リスクの管理 同左</p> <p>(2) 信用リスクの管理 同左</p>

第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
<p>(3) 取引先リスクの管理</p> <p>リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty &amp; Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty &amp; Concentration Riskチームへ申請を行っております。</p> <p>また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。</p>	<p>(3) 取引先リスクの管理</p> <p>同左</p>

## 2 金融商品の時価等に関する事項

第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権についてはすべて1年以内に償還予定であります。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 同左 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 同左</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 同左</p>

## (関連当事者との取引に関する注記)

第25期 (自 平成22年9月16日 至 平成23年3月15日)	第26期 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。	同左

## (重要な後発事象に関する注記)

第25期 (自 平成22年9月16日 至 平成23年3月15日)	第26期 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
期首元本額	1,251,509,940円	1,175,898,198円
期中追加設定元本額	62,803,065円	158,706,991円
期中一部解約元本額	138,414,807円	71,330,030円

## 2 有価証券関係

第25期(平成23年3月15日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	15,782,541
合計	15,782,541

第26期(平成23年9月15日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	17,896,306
合計	17,896,306

## 3 デリバティブ取引関係

第25期 (自 平成22年9月16日 至 平成23年3月15日)	第26期 (平成23年9月15日現在)
該当事項はありません。	同左

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジなし）	911,893,838	1,085,974,371	
親投資信託受益証券 合計		911,893,838	1,085,974,371	
合計		911,893,838	1,085,974,371	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## (参考情報)

当ファンドは、「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジなし）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。同マザーファンドの平成23年9月15日現在(以下「計算日」という)の状況は次の通りであります。

なお、以下に記載した情報は監査意見の対象外であります。

## 「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジなし）」の状況

## (1) 貸借対照表

項目	(平成23年9月15日現在)
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	143,668,586
コール・ローン	53,806,171
国債証券	12,239,235,998
地方債証券	213,801,831
特殊債券	516,583,459
社債券	2,949,616,399
派生商品評価勘定	71,544,381
未収入金	298,036,373
未収利息	99,533,694
前払金	2,316,240
前払費用	27,685,236
差入委託証拠金	48,152,619
流動資産合計	16,663,980,987
資産合計	16,663,980,987
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	229,403,345
未払金	168,938,905
未払解約金	23,323,557
流動負債合計	421,665,807
負債合計	421,665,807
純資産の部	
元本等	
元本	13,638,153,272
剰余金	
剰余金又は欠損金( )	2,604,161,908
元本等合計	16,242,315,180
純資産合計	16,242,315,180
負債純資産合計	16,663,980,987



## (2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	(自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>公社債は個別法に基づき、原則として以下の通り時価評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における計算日において知りうる直近の最終相場で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値(平均値)、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2 デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>(1) 債券先物取引 個別法に基づき、原則として時価評価しております。時価評価にあたっては、原則として、当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 個別法に基づき、原則としてわが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>外貨建資産・負債の円換算については原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理 外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	(平成23年9月15日現在)
1 当該計算日の末日における受益権総数	13,638,153,272口
2 1口当たり純資産額	1.1909円

## (税効果会計に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

(自 平成23年3月16日  
至 平成23年9月15日)

## 1 金融商品に対する取組方針

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。

## 2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は公社債であります。当ファンドの主な投資リスクとして、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「期限前償還リスク」、「カントリー・リスク」、「デリバティブ取引のリスク」等があります。

当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、債券関連では債券先物取引、通貨関連では為替予約取引であります。債券先物取引は、有価証券の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用目的で行っております。為替予約取引は外貨建有価証券の売買の決済等に伴い必要となる外貨の売買の為に、その受渡日までの数日間の為替予約を利用しております。債券先物取引に係る主要リスクは、債券相場及び為替相場の変動による価格変動リスクであります。為替予約取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。

## 3 金融商品に係るリスク管理体制

## (1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。

## (2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

## (3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。

## 2 金融商品の時価等に関する事項

(平成23年9月15日現在)	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2 時価の算定方法	
(1) 有価証券	「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。
(2) デリバティブ取引	デリバティブ取引については、「(その他の注記)」の「3 デリバティブ取引関係」に記載しております。
(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
4 金銭債権の計算日後の償還予定額	金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。

## (関連当事者との取引に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (重要な後発事象に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (その他の注記)

- 1 本報告書における開示対象ファンドの当該計算期間における当該親投資信託の元本額の変動及び計算日における元本の内訳

(平成23年9月15日現在)	
同計算期間の期首元本額	13,857,195,767円
同計算期間中の追加設定元本額	419,353,394円
同計算期間中の一部解約元本額	638,395,889円
同計算期間末日の元本額	13,638,153,272円
当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託の元本額は次の通りです。	
ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）	911,893,838円
ブラックロック・ワールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	807,312,064円
B Rワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）	2,356,756,151円
ブラックロック・ワールド・ボンド・ファンドV A	9,562,191,219円
合計	13,638,153,272円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	(平成23年9月15日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	261,481,538
地方債証券	5,549,143
特殊債券	21,321,097
社債券	49,117,078
合計	239,234,700

(注) 「当計算期間の損益に含まれた評価差額」の欄には、当該親投資信託の期首から計算日までの評価差額を記載しております。

## 3 デリバティブ取引関係

## 取引の時価等に関する事項

## 債券関連及び通貨関連

区分	種類	(平成23年9月15日現在)			
		契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	売建				
	日本円	570,360,000		570,800,000	440,000
	アメリカドル	355,294,209		355,344,570	50,361
	オーストラリアドル	565,808,350		567,288,802	1,480,452
	ユーロ	567,370,581		566,962,861	407,720
市場取引以外の取引	買建				
	オーストラリアドル	591,829,680		591,374,685	454,995
	為替予約取引				
	売建				
	アメリカドル	351,787,997		350,948,250	839,747
	カナダドル	127,560,883		125,178,325	2,382,558
	オーストラリアドル	86,237,749		81,549,680	4,688,069
	イギリスポンド	268,317,823		258,135,600	10,182,223
	スイスフラン	16,678,217		15,321,250	1,356,967
	デンマーククローネ	122,470,485		110,681,640	11,788,845
	スウェーデンクローナ	10,163,687		9,255,910	907,777
	ポーランドズロチ	91,183,676		81,932,950	9,250,726
	ユーロ	573,575,925		544,125,330	29,450,595
	買建				
	アメリカドル	2,115,200,186		2,012,646,989	102,553,197
	オーストラリアドル	23,815,912		22,726,960	1,088,952
	シンガポールドル	69,239,965		65,924,848	3,315,117
	イギリスポンド	340,573,407		319,889,950	20,683,457
	スイスフラン	74,100,960		66,975,750	7,125,210
	ノルウェークローネ	44,950,323		43,515,472	1,434,851
ポーランドズロチ	118,997,268		99,943,350	19,053,918	
メキシコペソ	118,034,674		105,079,600	12,955,074	
ユーロ	805,294,971		746,816,364	58,478,607	
	合計	8,008,846,928		7,712,419,136	157,858,964

## (注1) 時価の算定方法

## 債券先物取引

- 1 当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段または最終相場で評価しております。
- 2 外貨建先物取引の時価は、計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

## 為替予約取引

- 1 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。  
計算日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という)の対顧客先物相場が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。  
計算日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
  - ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
  - ・ 計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

(注2) 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

## (3) 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考	
国債証券	日本円	1 3 6 国庫短期証券	3,430,000,000	3,429,931,400		
		3 0 3 1 0年国債	1,126,000,000	1,188,842,060		
		3 0 9 1 0年国債	423,000,000	433,194,300		
		3 1 0 1 0年国債	387,000,000	391,849,110		
		3 9 1 5年国債 F R	220,000,000	226,600,000		
		8 9 2 0年国債	212,550,000	233,046,196		
		9 9 2 0年国債	1,209,000,000	1,296,978,930		
	日本円 小計			7,007,550,000	7,200,441,996	
	アメリカドル	POLAND GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND		1,008,000.000	1,047,060.000	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		410,000.000	494,279.600	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		5,529,000.000	5,995,537.020	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		2,772,000.000	2,800,163.520	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		5,015,000.000	5,038,269.600	
	アメリカドル 小計			14,734,000.000 (1,130,687,160)	15,375,309.740 (1,179,901,269)	
	イギリスポンド	UNITED KINGDOM GILT		753,000.000	765,198.600	
		UNITED KINGDOM GILT		145,000.000	161,936.000	
		UNITED KINGDOM GILT		3,820,000.000	4,257,008.000	
	イギリスポンド 小計			4,718,000.000 (570,547,740)	5,184,142.600 (626,918,365)	
	カナダドル	CANADIAN GOVERNMENT		627,000.000	864,683.160	
		CANADIAN GOVERNMENT BOND		2,929,000.000	3,194,748.170	
	カナダドル 小計			3,556,000.000 (275,447,760)	4,059,431.330 (314,443,551)	
	ポーランドズロチ	POLAND GOVERNMENT BOND		3,375,000.000	3,358,968.750	
	ポーランドズロチ 小計			3,375,000.000 (81,067,500)	3,358,968.750 (80,682,429)	
	ユーロ	BELGIUM GOVERNMENT BOND		1,255,000.000	1,225,971.850	
		BELGIUM GOVERNMENT BOND		379,000.000	361,577.370	
		BUNDESOBLIGATION		1,981,000.000	2,134,408.640	
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND		2,381,100.000	2,913,728.250	
		BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND		3,196,000.000	3,601,284.760	
		BUONI POLIENNALI DEL		3,565,000.000	3,306,466.200	
		FRANCE (GOVT OF)		2,802,000.000	3,082,228.020	
		FRANCE GOVERNMENT BOND OAT		777,000.000	848,662.710	
		IRELAND GOVERNMENT BOND		660,000.000	508,358.400	
IRELAND GOVERNMENT BOND		905,000.000	823,305.650			
ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO		2,398,000.000	1,928,279.760			
ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO		2,626,000.000	2,473,088.020			
PORTUGAL OBRIGACOES DO TESOURO OT		75,000.000	63,011.250			
PORTUGUESE OT'S 4.95		755,000.000	451,429.600			



種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
		SPAIN GOVERNMENT BOND	911,000.000	731,460.120	
		SPAIN GOVERNMENT BOND	1,830,000.000	1,701,277.800	
		SPANISH GOV'T 3.15%	772,000.000	737,568.800	
	ユーロ 小計		27,268,100.000 (2,876,511,869)	26,892,107.200 (2,836,848,389)	
国債証券 合計			11,941,812,029 (4,934,262,029)	12,239,235,998 (5,038,794,002)	
地方債証券	ユーロ	KOMMUNEKREDIT	750,000.000	772,282.500	
		PROVINCE OF QUEBEC CANADA	675,000.000	785,882.250	
		STATE OF HESSE	450,000.000	468,585.000	
	ユーロ 小計		1,875,000.000 (197,793,750)	2,026,749.750 (213,801,831)	
地方債証券 合計			197,793,750 (197,793,750)	213,801,831 (213,801,831)	
特殊債券	アメリカドル	SFEF	1,375,000.000	1,380,610.000	
	アメリカドル 小計		1,375,000.000 (105,517,500)	1,380,610.000 (105,948,011)	
	オーストラリアドル	EUROPEAN INVESTMENT BANK	1,220,000.000	1,314,574.400	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	980,000.000	1,022,257.600	
	オーストラリアドル 小計		2,200,000.000 (173,558,000)	2,336,832.000 (184,352,676)	
	カナダドル	KREDITANSTALT FUER WIEDERAUFBAU	1,760,000.000	1,945,644.800	
	カナダドル 小計		1,760,000.000 (136,329,600)	1,945,644.800 (150,709,646)	
	ユーロ	EUROPEAN UNION	385,000.000	388,453.450	
		INSTITUTO DE CREDITO OFICIAL	330,000.000	327,947.400	
	ユーロ 小計		715,000.000 (75,425,350)	716,400.850 (75,573,126)	
特殊債券 合計			490,830,450 (490,830,450)	516,583,459 (516,583,459)	
社債券	アメリカドル	ALTRIA GROUP INC	112,000.000	147,778.400	
		ALTRIA GROUP INC	206,000.000	294,687.120	
		ARKLE MASTER ISSUER PLC	1,100,000.000	1,098,658.000	
		BARCLAYS BANK PLC	500,000.000	370,000.000	
		BARCLAYS BANK PLC	1,175,000.000	1,177,620.250	
		BNP PARIBAS	1,200,000.000	1,181,964.000	
		CDP FINANCIAL INC	1,800,000.000	1,893,996.000	
		CITIBANK OMNI MASTER TRUST	715,000.000	721,513.650	
		CITIBANK OMNI MASTER TRUST	381,000.000	388,383.780	
		COMM 2007-C9 A2	413,799.270	417,051.730	
		CS FIRST BOSTON MORTGAGE SECURITIES CORP	921,413.740	939,104.880	
		DEXIA CREDIT LOCAL	750,000.000	750,150.000	
		EKSPORTFINANS ASA	605,000.000	640,828.100	
		FORD CREDIT FLOORPLAN MASTER OWNER TRUST	205,000.000	207,244.750	
		GCCFC 2005-GG3 A2	403,277.480	403,358.130	
		GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE	135,000.000	134,874.450	
		GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE	165,000.000	172,266.600	
		GOVERNOR & CO OF THE BANK OF IRELAND/THE	1,200,000.000	1,135,500.000	

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
		HOLMES MASTER ISSUER PLC	574,000.000	574,000.000	
		IRISH LIFE & PERMANENT PLC	1,175,000.000	989,209.000	
		KRAFT FOODS INC	130,000.000	161,501.600	
		MANULIFE FINANCIAL CORP	405,000.000	422,633.700	
		NORTHERN ROCK ASSET MANAGEMENT PLC	400,000.000	426,556.000	
		PRUDENTIAL FINANCIAL INC	557,000.000	564,692.170	
		S SLM STUDENT LOAN TRUST	800,000.000	824,568.000	
		TELEFONICA EMISIONES SAU	500,000.000	471,850.000	
		VOLKSWAGEN INTERNATIONAL FINANCE NV	795,000.000	794,697.900	
		WACHOVIA BANK COMMERCIAL MORTGAGE TRUST	554,399.920	560,581.470	
	アメリカドル	小計	17,877,890.410 (1,371,949,310)	17,865,269.680 (1,370,980,795)	
	イギリスポンド	BARCLAYS BANK PLC	280,000.000	165,222.400	
		FOSSE MASTER ISSUER PLC	340,000.000	338,606.000	
		LLOYDS TSB BANK PLC	510,000.000	444,179.400	
		VIRGIN MEDIA SECURED FINANCE PLC	385,000.000	379,225.000	
	イギリスポンド	小計	1,515,000.000 (183,208,950)	1,327,232.800 (160,502,263)	
	オーストラリアドル	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	500,000.000	516,730.000	
	オーストラリアドル	小計	500,000.000 (39,445,000)	516,730.000 (40,764,830)	
	スウェーデンクローナ	GOLDMAN SACHS GROUP INC	8,000,000.000	7,971,920.000	
	スウェーデンクローナ	小計	8,000,000.000 (91,520,000)	7,971,920.000 (91,198,765)	
	デンマーククローネ	NYKREDIT REALKREDIT A/S	15,700,000.000	15,516,310.000	
	デンマーククローネ	小計	15,700,000.000 (222,469,000)	15,516,310.000 (219,866,113)	
	ユーロ	AUTO ABS	202,855.120	201,163.300	
		AUTO ABS	213,047.760	207,806.780	
		BBVA SENIOR FINANCE SAU	600,000.000	593,130.000	
		CAJA MADRID	900,000.000	882,153.000	
		CARS ALLIANCE FUNDING PLC	205,368.720	204,013.280	
		DUESSELDORFER HYPOTHEKENBANK AG	775,000.000	781,587.500	
		FORTIS BANK NEDERLAND HOLDING NV	450,000.000	472,333.500	
		GLOBALDRIVE BV	294,864.480	297,662.740	
		GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE	1,344,000.000	1,348,932.480	
		INTESA SANPAOLO SPA	350,000.000	214,228.000	
		INTESA SANPAOLO SPA	550,000.000	336,875.000	
		JPMORGAN CHASE & CO	1,750,000.000	1,758,242.500	
		LEASEPLAN CORP NV	600,000.000	627,522.000	
		RABOBANK NEDERLAND	1,300,000.000	1,315,756.000	
		SVENSK EXPORTKREDIT AB	825,000.000	866,695.500	
	ユーロ	小計	10,360,136.080 (1,092,890,755)	10,108,101.580 (1,066,303,636)	
	社債券	合計	3,001,483.015 (3,001,483,015)	2,949,616.399 (2,949,616,399)	
	合計		15,631,919,244 (8,624,369,244)	15,919,237,687 (8,718,795,691)	

- (注) 1 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。  
 2 合計欄における( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。  
 3 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカドル	国債証券 5銘柄	44.4%	30.5%
	特殊債券 1銘柄	4.0%	
	社債券 28銘柄	51.6%	
イギリスポンド	国債証券 3銘柄	79.6%	9.0%
	社債券 4銘柄	20.4%	
オーストラリアドル	特殊債券 2銘柄	81.9%	2.6%
	社債券 1銘柄	18.1%	
カナダドル	国債証券 2銘柄	67.6%	5.3%
	特殊債券 1銘柄	32.4%	
スウェーデンクローナ	社債券 1銘柄	100.0%	1.0%
デンマーククローネ	社債券 1銘柄	100.0%	2.5%
ポーランドズロチ	国債証券 1銘柄	100.0%	0.9%
ユーロ	国債証券 17銘柄	67.7%	48.1%
	地方債証券 3銘柄	5.1%	
	特殊債券 2銘柄	1.8%	
	社債券 15銘柄	25.4%	

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当該事項はデリバティブ取引関係の注記事項として記載しております。

## 【ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）】

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	625,889,759	543,370,715
流動資産合計	625,889,759	543,370,715
資産合計	625,889,759	543,370,715
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	167,377	149,821
未払委託者報酬	4,118,598	3,686,768
流動負債合計	4,285,975	3,836,589
負債合計	4,285,975	3,836,589
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	655,772,138	555,653,956
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	34,168,354	16,119,830
（分配準備積立金）	199,030,928	91,300,634
元本等合計	621,603,784	539,534,126
純資産合計	621,603,784	539,534,126
負債純資産合計	625,889,759	543,370,715

## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
営業収益		
有価証券売買等損益	13,472,904	17,681,438
営業収益合計	13,472,904	17,681,438
営業費用		
受託者報酬	167,377	149,821
委託者報酬	4,118,598	3,686,768
営業費用合計	4,285,975	3,836,589
営業利益又は営業損失( )	17,758,879	13,844,849
経常利益又は経常損失( )	17,758,879	13,844,849
当期純利益又は当期純損失( )	17,758,879	13,844,849
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	477,649	1,327,907
期首剰余金又は期首欠損金( )	18,266,273	34,168,354
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,379,149	10,507,863
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,379,149	10,507,863
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	4,976,281
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	4,976,281
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	34,168,354	16,119,830

## (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、当該親投資信 託受益証券の基準価額で時価評価し ております。	親投資信託受益証券 同左
2 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益の計上基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	第25期 (平成23年 3月15日現在)	第26期 (平成23年 9月15日現在)
1 当該計算期間の末日にお ける受益権総数	655,772,138口	555,653,956口
2 投資信託財産の計算に関 する規則第55条の6第10 号に規定する額	元本の欠損 34,168,354円	元本の欠損 16,119,830円
3 1口当たり純資産額	0.9479円	0.9710円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 資産運用の権限を再委託 する場合の当該委託費用	843,994円	755,557円
2 分配金の計算過程	第25期計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(29,176,740円)、分配準備積立金(119,030,928円)により、分配対象収益は148,207,668円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。	第26期計算期末における、費用控除後の配当等収益(4,704,633円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(0円)、収益調整金(その他収益調整金)(42,064,036円)、分配準備積立金(86,596,001円)により、分配対象収益は133,364,670円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。

## (税効果会計に関する注記)

第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
該当事項はありません。	同左

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は親投資信託受益証券であります。 当ファンドの主な投資リスクとして、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「期限前償還リスク」、「カントリー・リスク」「デリバティブ取引のリスク」等があります。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 (1) 市場リスクの管理 ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。</p> <p>(2) 信用リスクの管理 ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 (1) 市場リスクの管理 同左</p> <p>(2) 信用リスクの管理 同左</p>



第25期 (自 平成22年 9月16日 至 平成23年 3月15日)	第26期 (自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
<p>(3) 取引先リスクの管理</p> <p>リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty &amp; Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty &amp; Concentration Riskチームへ申請を行っております。</p> <p>また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。</p>	<p>(3) 取引先リスクの管理 同左</p>

## 2 金融商品の時価等に関する事項

第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 同左 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 同左</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 同左</p>

## (関連当事者との取引に関する注記)

第25期 (自 平成22年9月16日 至 平成23年3月15日)	第26期 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。	同左

## (重要な後発事象に関する注記)

第25期 (自 平成22年9月16日 至 平成23年3月15日)	第26期 (自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	第25期 (平成23年3月15日現在)	第26期 (平成23年9月15日現在)
期首元本額	709,328,792円	655,772,138円
期中追加設定元本額		102,296,280円
期中一部解約元本額	53,556,654円	202,414,462円

## 2 有価証券関係

第25期(平成23年3月15日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	13,095,469
合計	13,095,469

第26期(平成23年9月15日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	15,765,818
合計	15,765,818

## 3 デリバティブ取引関係

第25期 (自平成22年9月16日 至平成23年3月15日)	第26期 (平成23年9月15日現在)
該当事項はありません。	同左

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジあり）	435,777,300	543,370,715	
親投資信託受益証券 合計		435,777,300	543,370,715	
合計		435,777,300	543,370,715	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## (参考情報)

当ファンドは、「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジあり）」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。同マザーファンドの平成23年9月15日現在(以下「計算日」という)の状況は次の通りであります。

なお、以下に記載した情報は監査意見の対象外であります。

## 「ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド（為替ヘッジあり）」の状況

## (1) 貸借対照表

項目	(平成23年9月15日現在)
	金額(円)
資産の部	
流動資産	
預金	48,612,360
コール・ローン	6,916,448
国債証券	4,925,796,969
地方債証券	53,976,780
特殊債券	165,605,736
社債券	1,055,391,099
派生商品評価勘定	259,227,401
未収入金	120,589,392
未収利息	37,597,552
前払金	646,560
前払費用	11,440,082
差入委託証拠金	20,211,911
流動資産合計	6,706,012,290
資産合計	6,706,012,290
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	10,652,771
未払金	68,753,457
未払解約金	6,255,473
流動負債合計	85,661,701
負債合計	85,661,701
純資産の部	
元本等	
元本	5,309,590,963
剰余金	
剰余金又は欠損金( )	1,310,759,626
元本等合計	6,620,350,589
純資産合計	6,620,350,589
負債純資産合計	6,706,012,290

## (2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	(自 平成23年 3月16日 至 平成23年 9月15日)
1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>公社債は個別法に基づき、原則として以下の通り時価評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における計算日において知りうる直近の最終相場で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値(平均値)、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2 デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>(1) 債券先物取引 個別法に基づき、原則として時価評価しております。時価評価にあたっては、原則として、当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 個別法に基づき、原則としてわが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>外貨建資産・負債の円換算については原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理 外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

項目	(平成23年9月15日現在)
1 当該計算日の末日における受益権総数	5,309,590,963口
2 1口当たり純資産額	1.2469円

## (税効果会計に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
<p>1 金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p>
<p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は公社債であります。当ファンドの主な投資リスクとして、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「期限前償還リスク」、「カントリー・リスク」、「デリバティブ取引のリスク」等があります。</p> <p>当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、債券関連では債券先物取引、通貨関連では為替予約取引であります。債券先物取引は、有価証券の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用目的で行っております。為替予約取引は外貨建有価証券の売買の決済等に伴い必要となる外貨の売買の為に、その受渡日までの数日間の為替予約を利用しております。債券先物取引に係る主要リスクは、債券相場及び為替相場の変動による価格変動リスクであります。為替予約取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。</p>

(自 平成23年 3月16日  
至 平成23年 9月15日)

### 3 金融商品に係るリスク管理体制

#### (1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。

#### (2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

#### (3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。



## 2 金融商品の時価等に関する事項

(平成23年9月15日現在)	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2 時価の算定方法	
(1) 有価証券	「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。
(2) デリバティブ取引	デリバティブ取引については、「(その他の注記)」の「3 デリバティブ取引関係」に記載しております。
(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
4 金銭債権の計算日後の償還予定額	金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。

## (関連当事者との取引に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (重要な後発事象に関する注記)

(自 平成23年3月16日 至 平成23年9月15日)
該当事項はありません。

## (その他の注記)

- 1 本報告書における開示対象ファンドの当該計算期間における当該親投資信託の元本額の変動及び計算日における元本の内訳

(平成23年9月15日現在)	
同計算期間の期首元本額	5,497,224,106円
同計算期間中の追加設定元本額	195,352,737円
同計算期間中の一部解約元本額	382,985,880円
同計算期間末日の元本額	5,309,590,963円
当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託の元本額は次の通りです。	
ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）	435,777,300円
ブラックロック・ワールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	222,220,758円
B Rワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	4,651,592,905円
合計	5,309,590,963円

## 2 有価証券関係

## 売買目的有価証券

種類	(平成23年9月15日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	103,021,285
地方債証券	245,971
特殊債券	8,621,324
社債券	26,148,001
合計	85,740,579

(注) 「当計算期間の損益に含まれた評価差額」の欄には、当該親投資信託の期首から計算日までの評価差額を記載しております。

## 3 デリバティブ取引関係

## 取引の時価等に関する事項

## 債券関連及び通貨関連

区分	種類	(平成23年9月15日現在)			
		契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	売建				
	日本円	142,590,000		142,700,000	110,000
	アメリカドル	118,431,403		118,448,190	16,787
	オーストラリアドル	228,012,320		228,608,920	596,600
	ユーロ	220,000,977		219,842,742	158,235
市場取引以外の取引	買建				
	オーストラリアドル	245,836,944		245,647,946	188,998
	為替予約取引				
	売建				
	アメリカドル	1,099,016,596		1,049,737,995	49,278,601
	カナダドル	189,490,966		181,982,585	7,508,381
	オーストラリアドル	94,551,769		89,806,880	4,744,889
	イギリスポンド	417,094,205		394,212,700	22,881,505
	デンマーククローネ	87,271,874		78,871,200	8,400,674
	ポーランドズロチ	36,489,462		32,787,550	3,701,912
	ユーロ	2,081,847,612		1,919,898,330	161,949,282
	市場取引以外の取引	買建			
アメリカドル		45,940,584		45,702,732	237,852
イギリスポンド		74,685,600		72,510,000	2,175,600
オーストラリアドル		19,397,216		18,637,680	759,536
ユーロ		211,321,636		205,358,160	5,963,476
合計			5,311,979,164		5,044,753,610

(注1) 時価の算定方法

## 債券先物取引

- 1 当該取引所の発表する計算日に知り得る直近の日の清算値段または最終相場で評価しております。
- 2 外貨建先物取引の時価は、計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

## 為替予約取引

- 1 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。  
計算日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という)の対顧客先物相場が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。  
計算日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。  
・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。  
・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

(注2) 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

## (3) 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考	
国債証券	日本円	1 3 6 国庫短期証券	1,450,000,000	1,449,971,000		
		3 0 3 10年国債	444,000,000	468,779,640		
		3 0 9 10年国債	159,000,000	162,831,900		
		3 1 0 10年国債	107,000,000	108,340,710		
		3 9 15年国債FR	80,000,000	82,400,000		
		8 9 20年国債	75,950,000	83,273,858		
		9 9 20年国債	492,250,000	528,071,032		
	日本円 小計			2,808,200,000	2,883,668,140	
	アメリカドル	POLAND GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND		391,000.000	406,151.250	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		170,000.000	204,945.200	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		2,217,000.000	2,404,070.460	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		1,139,000.000	1,150,572.240	
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND		2,015,000.000	2,024,349.600	
	アメリカドル 小計			5,932,000.000 (455,221,680)	6,190,088.750 (475,027,411)	
	イギリスポンド	UNITED KINGDOM GILT		395,000.000	401,399.000	
		UNITED KINGDOM GILT		1,520,000.000	1,693,888.000	
	イギリスポンド 小計			1,915,000.000 (231,580,950)	2,095,287.000 (253,383,057)	
	カナダドル	CANADIAN GOVERNMENT		252,000.000	347,528.160	
		CANADIAN GOVERNMENT BOND		1,143,000.000	1,246,704.390	
	カナダドル 小計			1,395,000.000 (108,056,700)	1,594,232.550 (123,489,253)	
	ポーランドズロチ	POLAND GOVERNMENT BOND		1,350,000.000	1,343,587.500	
	ポーランドズロチ 小計			1,350,000.000 (32,427,000)	1,343,587.500 (32,272,972)	
	ユーロ	BELGIUM GOVERNMENT BOND		485,000.000	473,781.950	
		BELGIUM GOVERNMENT BOND		149,000.000	142,150.470	
		BUNDESobligation		853,000.000	919,056.320	
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND		1,017,040.000	1,244,541.670	
		BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND		1,453,000.000	1,637,254.930	
		BUONI POLIENNALI DEL		1,407,000.000	1,304,964.360	
		FRANCE (GOVT OF)		1,109,000.000	1,219,911.090	
		FRANCE GOVERNMENT BOND OAT		292,000.000	318,931.160	
		IRELAND GOVERNMENT BOND		260,000.000	200,262.400	
		IRELAND GOVERNMENT BOND		358,000.000	325,683.340	
		ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO		893,000.000	718,079.160	
ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO		1,165,000.000	1,097,162.050			
PORTUGAL OBRIGACOES DO TESOURO OT		20,000.000	16,803.000			
PORTUGUESE OT'S 4.95		300,000.000	179,376.000			
SPAIN GOVERNMENT BOND		359,000.000	288,248.280			

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
		SPAIN GOVERNMENT BOND	694,000.000	645,184.040	
		SPANISH GOV'T 3.15%	257,000.000	245,537.800	
	ユーロ 小計		11,071,040.000 (1,167,884,010)	10,976,928.020 (1,157,956,137)	
国債証券 合計			4,803,370,340 (1,995,170,340)	4,925,796,969 (2,042,128,829)	
地方債証券	ユーロ	KOMMUNEKREDIT	325,000.000	334,655.750	
		STATE OF HESSE	170,000.000	177,021.000	
	ユーロ 小計		495,000.000 (52,217,550)	511,676.750 (53,976,780)	
地方債証券 合計			52,217,550 (52,217,550)	53,976,780 (53,976,780)	
特殊債券	オーストラリアドル	EUROPEAN INVESTMENT BANK	470,000.000	506,434.400	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	370,000.000	385,954.400	
	オーストラリアドル 小計		840,000.000 (66,267,600)	892,388.800 (70,400,552)	
	カナダドル	KREDITANSTALT FUER WIEDERAUFBAU	760,000.000	840,164.800	
	カナダドル 小計		760,000.000 (58,869,600)	840,164.800 (65,079,165)	
	ユーロ	EUROPEAN UNION	155,000.000	156,390.350	
		INSTITUTO DE CREDITO OFICIAL	130,000.000	129,191.400	
ユーロ 小計		285,000.000 (30,064,650)	285,581.750 (30,126,019)		
特殊債券 合計			155,201,850 (155,201,850)	165,605,736 (165,605,736)	
社債券	アメリカドル	ALTRIA GROUP INC	42,000.000	55,416.900	
		ALTRIA GROUP INC	81,000.000	115,872.120	
		ARKLE MASTER ISSUER PLC	425,000.000	424,481.500	
		BARCLAYS BANK PLC	200,000.000	148,000.000	
		BARCLAYS BANK PLC	475,000.000	476,059.250	
		BNP PARIBAS	500,000.000	492,485.000	
		CDP FINANCIAL INC	700,000.000	736,554.000	
		CITIBANK OMNI MASTER TRUST	285,000.000	287,596.350	
		CITIBANK OMNI MASTER TRUST	250,000.000	254,845.000	
		COMM 2007-C9 A2	170,387.930	171,727.170	
		COMMERCIAL MORTGAGE ASSET TRUST	8.210	8.210	
		CS FIRST BOSTON MORTGAGE SECURITIES CORP	385,489.420	392,890.810	
		DEXIA CREDIT LOCAL	280,000.000	280,056.000	
		EKSPORTFINANS ASA	235,000.000	248,916.700	
		FORD CREDIT FLOORPLAN MASTER OWNER TRUST	100,000.000	101,095.000	
		GOVERNOR & CO OF THE BANK OF IRELAND/THE	400,000.000	378,500.000	
		HOLMES MASTER ISSUER PLC	250,000.000	250,000.000	
		IRISH LIFE & PERMANENT PLC	450,000.000	378,846.000	
		KRAFT FOODS INC	50,000.000	62,116.000	
		MANULIFE FINANCIAL CORP	165,000.000	172,184.100	
		NORTHERN ROCK ASSET MANAGEMENT PLC	150,000.000	159,958.500	
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	214,000.000	216,955.340			

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
		SLM STUDENT LOAN TRUST	300,000.000	309,213.000	
		TELEFONICA EMISIONES SAU	200,000.000	188,740.000	
		VOLKSWAGEN INTERNATIONAL FINANCE NV	310,000.000	309,882.200	
		WACHOVIA BANK COMMERCIAL MORTGAGE TRUST	239,613.520	242,285.210	
	アメリカドル	小計	6,857,499.080 (526,244,479)	6,854,684.360 (526,028,478)	
	イギリスポンド	AVIVA PLC	150,000.000	132,316.500	
		BARCLAYS BANK PLC	100,000.000	59,008.000	
		LLOYDS TSB BANK PLC	205,000.000	178,542.700	
		VIRGIN MEDIA SECURED FINANCE PLC	150,000.000	147,750.000	
	イギリスポンド	小計	605,000.000 (73,162,650)	517,617.200 (62,595,448)	
	デンマーククローネ	NYKREDIT REALKREDIT A/S	6,200,000.000	6,127,460.000	
	デンマーククローネ	小計	6,200,000.000 (87,854,000)	6,127,460.000 (86,826,108)	
	ユーロ	BBVA SENIOR FINANCE SAU	250,000.000	247,137.500	
		CAJA MADRID	350,000.000	343,059.500	
		DUESSELDORFER HYPOTHEKENBANK AG	300,000.000	302,550.000	
		FORTIS BANK NEDERLAND HOLDING NV	150,000.000	157,444.500	
		GENERAL ELECTRIC CAPITAL CORP	350,000.000	357,290.500	
		GLOBALDRIVE BV	112,644.850	113,713.840	
		GOLDMAN SACHS GROUP INC/THE	523,000.000	524,919.410	
		INTESA SANPAOLO SPA	250,000.000	153,020.000	
		INTESA SANPAOLO SPA	200,000.000	122,500.000	
		JPMORGAN CHASE & CO	700,000.000	703,297.000	
		LEASEPLAN CORP NV	225,000.000	235,320.750	
		SVENSK EXPORTKREDIT AB	325,000.000	341,425.500	
	ユーロ	小計	3,735,644.850 (394,073,175)	3,601,678.500 (379,941,065)	
	社債券	合計	1,081,334,304 (1,081,334,304)	1,055,391,099 (1,055,391,099)	
	合計		6,092,124,044 (3,283,924,044)	6,200,770,584 (3,317,102,444)	

(注) 1 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。

2 合計欄における( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

## 3 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカドル	国債証券	5銘柄	47.5%
	社債券	26銘柄	52.5%
イギリスポンド	国債証券	2銘柄	80.2%
	社債券	4銘柄	19.8%
オーストラリアドル	特殊債券	2銘柄	100.0%
カナダドル	国債証券	2銘柄	65.5%
	特殊債券	1銘柄	34.5%
デンマーククローネ	社債券	1銘柄	100.0%
ポーランドズロチ	国債証券	1銘柄	100.0%
ユーロ	国債証券	17銘柄	71.4%
	地方債証券	2銘柄	3.3%
	特殊債券	2銘柄	1.9%
	社債券	12銘柄	23.4%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当該事項はデリバティブ取引関係の注記事項として記載しております。

## 2【ファンドの現況】

【ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)】(平成23年9月末現在)

## 【純資産額計算書】

資産総額	1,073,056,803円
負債総額	1,059,413円
純資産総額( - )	1,071,997,390円
発行済数量	1,262,743,324口
1 単位当たり純資産額( / )	0.8489円

## (参考情報)

ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジなし)(平成23年9月末現在)

## 純資産額計算書

資産総額	17,115,165,236円
負債総額	1,027,371,368円
純資産総額( - )	16,087,793,868円
発行済数量	13,579,075,226口
1 単位当たり純資産額( / )	1.1847円



## 【ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)】(平成23年9月末現在)

## 【純資産額計算書】

資産総額	539,272,489円
負債総額	1,076,598円
純資産総額( - )	538,195,891円
発行済数量	553,826,223口
1 単位当たり純資産額( / )	0.9718円

## (参考情報)

## ブラックロック・ワールド・ボンド・マザーファンド(為替ヘッジあり)(平成23年9月末現在)

## 純資産額計算書

資産総額	6,952,481,614円
負債総額	344,698,940円
純資産総額( - )	6,607,782,674円
発行済数量	5,292,036,191口
1 単位当たり純資産額( / )	1.2486円

## 第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

### 1 受益証券の名義書換え等

該当事項はありません。

### 2 受益者名簿の閉鎖の時期

受益者名簿は作成していません。

### 3 投資者に対する特典

該当事項はありません。

### 4 内国投資信託受益証券の譲渡制限の内容

譲渡制限は設けておりません。

### 5 受益権の譲渡

投資者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該投資者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

の申請のある場合には、の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等(当該他の振替機関等の上位機関を含みます。)に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

の振替について、委託会社は、当該投資者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

### 6 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

### 7 受益権の再分割

委託会社は、受益権の再分割を行いません。ただし、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

## 8 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者(償還日以前において換金が行われた受益権にかかる投資者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として投資者とします。)に支払います。なお、当該投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

## 9 質権口記載または記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、換金の受付、換金代金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

## 第三部 【委託会社等の情報】

### 第1 【委託会社等の概況】

#### 1 【委託会社等の概況】

##### (1) 資本金の額等

資本金 2,435,000千円

発行する株式の総数 36,000株

発行済株式の総数 10,158株

直近5ヵ年における主な資本金の額の増減

平成20年7月1日付で、資本金を金475,000千円から485,000千円に増額しました。

平成23年3月1日付で、資本金を金485,000千円から2,435,000千円に増額しました。

##### (2) 委託会社の機構

経営の意思決定機構

###### < 株主総会 >

株主により構成される会社における最高の意思決定機関として、取締役の選任、利益処分の承認、定款の変更等、会社法及び定款の定めにしたがって重要事項の決定を行います。

###### < 取締役会 >

取締役により構成され、当社の業務執行を決定し、その執行について監督します。

###### < マネジメント委員会他各委員会 >

当社における適切な経営戦略の構築、業務執行体制の構築及び業務運営の推進を目的として、マネジメント委員会を設置します。また、その他各種委員会を設置し、業務の能率的運営及び責任体制の確立を図っています。

運用の意思決定機構

###### 投資委員会

・投資委員会にて運用にかかる投資方針、パフォーマンスおよびリスク管理に関する重要事項を審議します。

### 運用担当部署

- ・各運用担当部署では、投資委員会の決定に従い、ファンドの個別の運用計画を策定し、各部署の投資プロセスを通して運用を行います。

### ポートフォリオ・マネジャー

- ・ポートフォリオ・マネジャーは、策定された運用計画に基づき、個別銘柄を選択し売買に関する指図を行います。

### リスク管理

- ・委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行なっております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行なっております。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

投信法に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また、金融商品取引法に定める投資助言業務ならびに有価証券の売買の媒介および有価証券の募集に関する第一種金融商品取引業務等を行っています。

委託会社の運用する証券投資信託は平成23年9月末現在、以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

種類		本数	純資産総額
公募投資信託	追加型株式投資信託	31本	135,593百万円
	単体型株式投資信託	0本	0円
私募投資信託		74本	1,251,499百万円
合計		105本	1,387,091百万円

### 3【委託会社等の経理状況】

#### 1．財務諸表の作成方法について

委託会社であるブラックロック・ジャパン株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）第2条及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号。）に基づいて作成しております。

なお、第23期事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）は改正前の財務諸表等規則及び「金融商品取引業務等に関する内閣府令」に基づき、第24期事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）は改正後の財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づいて作成しております。

#### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第23期事業年度（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）の財務諸表について、及び第24期事業年度（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）の財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

#### 3．財務諸表に記載している金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

		第23期 (平成22年3月31日現在)	第24期 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金・預金	3	4,043	7,036
支払委託償還金		2	-
前払金		-	4
立替金		-	12
前払費用		237	120
未収入金		169	95
未収委託者報酬		1,533	1,101
未収運用受託報酬		3,855	3,104
未収収益	2	304	143
差入保証金		479	-
未収還付消費税等		156	-
未収還付法人税等		506	100
繰延税金資産		930	417
その他流動資産		25	5
流動資産計		12,245	12,142
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物附属設備	1	2,099	2,011
器具備品	1	871	768
有形固定資産計		2,970	2,779
<b>無形固定資産</b>			
ソフトウェア		31	23
のれん		3,688	2,951
クライアント・リレーションシップ資産		1,687	1,380
その他の無形固定資産		3	3
無形固定資産計		5,410	4,359
<b>投資その他の資産</b>			
関係会社株式	2	300	300
長期差入保証金		1,005	978
繰延税金資産		1,037	1,312
投資その他の資産計		2,342	2,591
固定資産計		10,724	9,730
資産合計		22,970	21,872



	第23期 (平成22年3月31日現在)	第24期 (平成23年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	186	115
未払収益分配金	0	1
未払償還金	77	77
未払手数料	459	393
その他未払金	159	2
未払費用	1,571	896
未払法人税等	-	21
賞与引当金	666	410
役員賞与引当金	-	24
早期退職慰労引当金	246	26
未払消費税等	-	43
流動負債計	3,367	2,012
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2 10,237	6,337
退職給付引当金	283	342
資産除去債務	-	237
固定負債計	10,520	6,917
負債合計	13,888	8,929
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	485	2,435
資本剰余金		
資本準備金	366	2,316
その他資本剰余金	3,846	3,846
資本剰余金合計	4,212	6,162
利益剰余金		
利益準備金	336	336
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,047	4,008
利益剰余金合計	4,383	4,345
株主資本合計	9,081	12,942
純資産合計	9,081	12,942
負債・純資産合計	22,970	21,872

## (2) 【損益計算書】

(単位：百万円)

	第23期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第24期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	4,285	5,677
運用受託報酬	8,178	9,800
その他営業収益	2,501	2,292
営業収益計	14,965	17,771
営業費用		
支払手数料	974	1,859
広告宣伝費	77	73
公告費	0	0
調査費		
調査費	353	422
委託調査費	1,011	2,895
調査費計	1,365	3,318
委託計算費	146	244
営業雑経費		
通信費	98	149
印刷費	63	122
諸会費	25	16
営業雑経費計	187	288
営業費用計	2,750	5,784
一般管理費		
給料		
役員報酬	1,024	262
給料・手当	3,319	3,712
賞与	2,943	1,786
給料計	7,286	5,761
退職給付費用	421	320
福利厚生費	610	695
事務委託費	1,395	945
交際費	10	25
寄付金	0	2
旅費交通費	116	249
租税公課	77	131
不動産賃借料	1,134	1,113
水道光熱費	129	147
固定資産減価償却費	794	509
のれん償却費	314	736
クライアント・リレーションシップ資産償却費	102	306
資産除去債務利息費用	-	3
諸経費	416	767
一般管理費計	12,809	11,716
営業利益又は営業損失( )	594	269

	第23期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	第24期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	1	-
受取利息	1	9
為替差益		38
還付加算金等		-
早期退職慰労引当金戻入益		-
その他営業外収益		0
営業外収益計	48	570
営業外費用		
支払利息	1	138
有価証券売却損		0
為替差損		-
営業外費用計	138	359
経常利益又は経常損失( )	684	481
特別利益		
賞与引当金戻入益		154
特別利益計	154	-
特別損失		
固定資産除却損		4
原状回復費		243
特別退職金		518
長期借入金返済違約金		5
前期損益修正損		105
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		-
特別損失計	877	279
税引前当期純利益又は税引前当期純損失( )	1,407	201
法人税、住民税及び事業税	16	2
法人税等調整額	338	238
当期純損失( )	1,084	38

## (3) 【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	第23期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	第24期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	485	485
当期変動額		
新株の発行	-	1,950
当期変動額合計	-	1,950
当期末残高	485	2,435
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	366	366
当期変動額		
新株の発行	-	1,950
当期変動額合計	-	1,950
当期末残高	366	2,316
その他資本剰余金		
前期末残高	-	3,846
当期変動額		
企業結合による資本剰余金の増加	3,846	-
当期変動額合計	3,846	-
当期末残高	3,846	3,846
資本剰余金合計		
前期末残高	366	4,212
当期変動額		
新株の発行	-	1,950
企業結合による資本剰余金の増加	3,846	-
当期変動額合計	3,846	1,950
当期末残高	4,212	6,162
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	336	336
当期末残高	336	336
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	7,860	4,047
当期変動額		
剰余金の配当	101	-
企業結合による利益剰余金の増加 又は減少( )	2,627	-
当期純損失( )	1,084	38
当期変動額合計	3,813	38
当期末残高	4,047	4,008
利益剰余金合計		
前期末残高	8,197	4,383
当期変動額		
剰余金の配当	101	-
企業結合による利益剰余金の増加 又は減少( )	2,627	-

	第23期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	第24期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
当期純損失( )	1,084	38
当期変動額合計	3,813	38
当期末残高	4,383	4,345
株主資本合計		
前期末残高	9,048	9,081
当期変動額		
新株の発行	-	3,900
企業結合による資本剰余金の増加	3,846	-
剰余金の配当	101	-
企業結合による利益剰余金の増加 又は減少( )	2,627	-
当期純損失( )	1,084	38
当期変動額合計	32	3,861
当期末残高	9,081	12,942
純資産合計		
前期末残高	9,048	9,081
当期変動額		
新株の発行	-	3,900
企業結合による資本剰余金の増加	3,846	-
剰余金の配当	101	-
企業結合による利益剰余金の増加 又は減少( )	2,627	-
当期純損失( )	1,084	38
当期変動額合計	32	3,861
当期末残高	9,081	12,942

## (重要な会計方針)

期 別 項 目	第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
1. 有価証券の評価基準及び 評価方法	<p>(1) 子会社株式 移動平均法による原価法を採用して おります。</p> <p>(2) その他有価証券で時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価 法(評価差額は全部純資産直入法によ り処理し、売却原価は移動平均法によ り算定)を採用しております。</p>	<p>(1) 子会社株式 同 左</p> <p>(2) その他有価証券で時価のあるもの 同 左</p>
2. 固定資産の減価償却方法	<p>(1) 有形固定資産 定額法により償却しております。</p> <p>(追加情報) 平成22年5月に予定している事務所 の移転に伴い、除却を予定している有 形固定資産について、従来耐用年数を 5年～18年としておりましたが、除却 を決定した平成21年10月より、残存耐 用年数を平成21年10月から平成22年5 月までの8ヶ月に変更しております。 これにより、当期の営業損失、経常損 失及び税引前当期純損失はそれぞれ 468百万円増加しております。</p> <p>(2) 無形固定資産 ソフトウェア、のれん及びクライア ント・リレーションシップ資産につ いては、定額法により償却してしま す。</p>	<p>(1) 有形固定資産 定額法により償却しております。な お、主な耐用年数は建物附属設備6～ 38年、器具備品3～15年であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 同 左</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 退職給付引当金の計上方法 適格退職年金制度 従業員の退職給付に備えるため、 当期末における退職給付債務及び 年金資産に基づき計上してしま す。なお、会計制度委員会報告第13 号「退職給付会計に関する実務指 針(中間報告)」に規定されている 簡便法に基づき、当期末における責 任準備金等の額をもって退職給付 債務とする方法によっております。</p>	<p>(1) 退職給付引当金の計上方法 -</p>

期別 項目	第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
	<p>旧退職金制度 適格退職年金制度移行日現在在籍していた従業員については、旧退職金制度に基づく給付額を保証しているため、期末現在の当該給付額と年金制度に基づく給付額との差額を引当て計上しております。</p> <p>確定拠出年金制度 確定拠出年金制度（DC）による退職年金制度を有しております。</p> <p>確定給付年金制度 キャッシュ・バランス型の年金制度（CB）の退職年金制度を有しております。CBには、一定の利回り保証を付しており、これの将来の支払に備えるため、確定給付型の会計基準に準じた会計処理方法により引当金を計上しております。</p> <p>過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理または費用から控除することとしております。</p> <p>(追加情報) 当社は、平成21年12月2日における旧ブラックロック・ジャパン株式会社との合併に伴い、旧ブラックロック・ジャパン株式会社における退職年金制度（及び ）を承継し、上記の会計処理を行っております。</p> <p>(2) 賞与引当金の計上方法 従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。</p>	<p>旧退職金制度 同 左</p> <p>確定拠出年金制度 同 左</p> <p>確定給付年金制度 同 左</p> <p>(追加情報) 当社は、平成23年1月1日において従来併存していた適格退職年金制度をキャッシュ・バランス型の確定給付年金制度に一元化しました。この制度移行による過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）により費用処理しております。</p> <p>(2) 賞与引当金の計上方法 同 左</p>

期別 項目	第23期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	第24期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	(3) 役員賞与引当金の計上方法 -	(3) 役員賞与引当金の計上方法 役員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。  外貨建金銭債権債務は、期末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左

(会計方針の変更及び表示方法の変更)

期別 項目	第23期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	第24期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
1. 資産除去債務に関する会計基準	-	当会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。 これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ26百万円減少し、税引前当期純利益は61百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は233百万円でありませ
2. 表示方法の変更	(貸借対照表) (1) 従来まで「未収収益」に含めていた未収運用受託報酬について、その重要性に鑑み、当事業年度から区分掲記しております。 (2) 従来まで「未払費用」に含めていた未収収益分配金、未払償還金、未払手数料及びその他未払金について、その重要性に鑑み、当事業年度から区分掲記しております。	-



期別 項目	第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
	<p>(損益計算書)</p> <p>(1) 従来まで「営業費用」の内訳項目で区分掲記していた科目について、損益計算書の表示科目の明瞭性と重要性を勘案して、一部変更及び集約して表示しております。なお詳細は以下に記載しております。</p> <p>従来「支払手数料」に含めていた支払運用再委託報酬を、当事業年度から「委託調査費」として区分掲記しております。</p> <p>従来区分掲記していた「情報機器関連費」を、当事業年度から「調査費」に含めて表示しております。</p> <p>(2) 従来まで「一般管理費」の内訳項目で区分掲記していた科目について、損益計算書の表示科目の明瞭性と重要性を勘案して、一部変更及び集約して表示しております。なお詳細は以下に記載しております。</p> <p>従来区分掲記していた「法定福利費」を、当事業年度から「福利厚生費」に含めて表示しております。</p> <p>従来区分掲記していた「事務用品費」「採用費」「賃借料」「消耗器具備品費」「修繕維持費」「不動産仲介手数料」及び「教育研修費」を、当事業年度から「諸経費」に含めて表示しております。</p>	-

## 注 記 事 項

(貸借対照表関係)

第23期 (平成22年3月31日現在)	第24期 (平成23年3月31日現在)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物附属設備 539百万円</p> <p>器具備品 328百万円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物附属設備 281百万円</p> <p>器具備品 393百万円</p>
<p>2 関係会社に対する資産および負債は次の通りであります。</p> <p>関係会社株式 300百万円</p> <p>未収収益 233百万円</p>	<p>2 関係会社に対する資産は次の通りであります。</p> <p>関係会社株式 300百万円</p>
<p>3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <p>当座貸越極度額及び貸出 コミットメントの総額 5,500百万円</p> <p>借入実行残高 -</p> <p>差引額 5,500百万円</p>	<p>3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次の通りであります。</p> <p>当座貸越極度額及び貸出 コミットメントの総額 5,500百万円</p> <p>借入実行残高 -</p> <p>差引額 5,500百万円</p>

(損益計算書関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
<p>1 関係会社に対する営業外収益及び営業外費用は次の通りであります。</p> <p>受取利息 7百万円</p> <p>支払利息 23百万円</p>	<p>1 関係会社に対する営業外収益は次の通りであります。</p> <p>受取配当金 500百万円</p>

## (株主資本等変動計算書関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日					
第23期(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)					
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項					
	前事業年度末株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数	
発行済株式					
普通株式	9,238			9,238	
合計	9,238			9,238	
2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項 該当事項はありません。					
3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項 該当事項はありません。					
4. 配当に関する事項					
(1) 配当金支払額					
決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発行日
平成21年11月10日 臨時株主総会	普通株式	101	11,000	平成21年9月30日	平成21年11月13日
(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの 該当事項はありません。					

第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日				
第24期(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)				
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項				
	前事業年度末株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
発行済株式				
普通株式	9,238	920		10,158
合計	9,238	920		10,158
(変動事由の概要)				
100%親会社であるブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社に対する現物出資による株主割当による増加：920株				
2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項 該当事項はありません。				
3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項 該当事項はありません。				
4. 配当に関する事項 該当事項はありません。				

## (リース取引関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
該当なし	同 左

## (金融商品関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
<p>(追加情報)</p> <p>当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しております。</p> <p>1. 金融商品の状況に関する事項</p> <p>(1) 金融商品に対する取組方針 当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については関連当事者からの長期借入に限定しています。</p> <p>(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制 営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行い、個別に未収債権の回収可能性を管理する体制をしております。 投資有価証券である証券投資信託受益証券は、市場価格の変動リスクに晒されていますが、主に当社の投資信託業務を運営する上で必要とされる当社自身が設定・運用を行う証券投資信託に係るものであり、定期的に把握された時価が取締役会及び監査役会に報告されております。 営業債務である未払手数料はその全てが1年以内の支払期日となっております。 長期借入金は主に運転資金及び過去における経営統合時に必要とされた資金調達です。変動金利の借入金は、金利の変動リスクに晒されていますが、借入先が全て関連当事者となっており、そのリスクは当ブラックロック・グループ全体で管理されております。 営業債務や借入金は流動性リスクに晒されていますが、当社では月次に資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。</p>	<p>1. 金融商品の状況に関する事項</p> <p>(1) 金融商品に対する取組方針 同 左</p> <p>(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制 営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行い、個別に未収債権の回収可能性を管理する体制をしております。 営業債務である未払手数料はその全てが1年以内の支払期日となっております。 長期借入金は主に運転資金及び過去における経営統合時に必要とされた資金調達です。変動金利の借入金は、金利の変動リスクに晒されていますが、借入先が全て関連当事者となっており、そのリスクは当ブラックロック・グループ全体で管理されております。 営業債務や借入金は流動性リスクに晒されていますが、当社では資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。</p>

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日				第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日			
2. 金融商品の時価等に関する事項 平成22年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。				2. 金融商品の時価等に関する事項 平成23年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。			
（単位：百万円）				（単位：百万円）			
	貸借対 照表計 上額(*)	時価(*)	差額		貸借対 照表計 上額(*)	時価(*)	差額
預金	4,043	4,043	-	現金・預金	7,036	7,036	-
支払委託償還金	2	2	-	前払金	4	4	-
未収入金	169	169	-	立替金	12	12	-
未収委託者報酬	1,533	1,533	-	未収入金	95	95	-
未収運用受託報酬	3,855	3,855	-	未収委託者報酬	1,101	1,101	-
未収収益	304	304	-	未収運用受託報酬	3,104	3,104	-
未収還付消費税等	156	156	-	未収収益	143	143	-
未収還付法人税等	506	506	-	未収還付法人税等	100	100	-
差入保証金	479	479	-	長期差入保証金	978	902	(76)
長期差入保証金	1,005	899	(105)	未払金	(474)	(474)	-
未払金	(697)	(697)	-	未払費用	(896)	(896)	-
未払費用	(1,571)	(1,571)	-	未払法人税等	(21)	(21)	-
長期借入金	(10,237)	(11,434)	(1,196)	未払消費税等	(43)	(43)	-
				長期借入金	(6,337)	(6,892)	(555)
(*) 負債に計上されているものについては ( ) で示していません。				(*) 負債に計上されているものについては ( ) で示していません。			
(注)				(注)			
1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項 預金、支払委託償還金、未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収収益、未収還付消費税等、未収還付法人税等及び差入保証金 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。 長期差入保証金 事務所敷金の時価については、事務所毎の敷金を当該賃貸借契約期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。また従業員社宅敷金の時価については、平均残存勤務期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。 未払金及び未払費用 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。				1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項 現金・預金、前払金、立替金、未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収収益及び未収還付法人税等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。 長期差入保証金 事務所敷金の時価については、事務所の敷金を当該賃貸借契約期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。また従業員社宅敷金の時価については、平均残存勤務期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。 未払金、未払費用、未払法人税等及び未払消費税等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。			

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日		第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日																																											
<p>長期借入金 長期借入金のうち、固定金利によるものは、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割引いて算定する方法によっています。</p> <p>長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。</p>		<p>長期借入金 長期借入金のうち、固定金利によるものは、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割引いて算定する方法によっています。</p> <p>長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。</p>																																											
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品		2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額（百万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子会社株式</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。</p>		区分	貸借対照表計上額（百万円）	子会社株式	300	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸借対照表計上額（百万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子会社株式</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。</p>		区分	貸借対照表計上額（百万円）	子会社株式	300																																		
区分	貸借対照表計上額（百万円）																																												
子会社株式	300																																												
区分	貸借対照表計上額（百万円）																																												
子会社株式	300																																												
3. 長期借入金の決算日後の返済予定額 (単位：百万円)		3. 長期借入金の決算日後の返済予定額 (単位：百万円)																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年以内</th> <th>1年超 2年以内</th> <th>2年超 3年以内</th> <th>3年超 4年以内</th> <th>4年超 5年以内</th> <th>5年超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期借入金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10,237</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10,237</td> </tr> </tbody> </table>			1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	長期借入金	-	-	-	-	-	10,237	合計	-	-	-	-	-	10,237	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年以内</th> <th>1年超 2年以内</th> <th>2年超 3年以内</th> <th>3年超 4年以内</th> <th>4年超 5年以内</th> <th>5年超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期借入金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,337</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,337</td> </tr> </tbody> </table>			1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	長期借入金	-	-	-	-	-	6,337	合計	-	-	-	-	-	6,337
	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超																																							
長期借入金	-	-	-	-	-	10,237																																							
合計	-	-	-	-	-	10,237																																							
	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超																																							
長期借入金	-	-	-	-	-	6,337																																							
合計	-	-	-	-	-	6,337																																							

(有価証券関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日		第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日																	
当該事業年度に売却したその他有価証券		当該事業年度に売却したその他有価証券																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>投資信託受益証券</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却額</td> <td>0 百万円</td> </tr> <tr> <td>売却益の合計</td> <td>- 円</td> </tr> <tr> <td>売却損の合計</td> <td>0 百万円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	投資信託受益証券	売却額	0 百万円	売却益の合計	- 円	売却損の合計	0 百万円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>投資信託受益証券</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却額</td> <td>0 百万円</td> </tr> <tr> <td>売却益の合計</td> <td>- 円</td> </tr> <tr> <td>売却損の合計</td> <td>0 百万円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	投資信託受益証券	売却額	0 百万円	売却益の合計	- 円	売却損の合計	0 百万円
区分	投資信託受益証券																		
売却額	0 百万円																		
売却益の合計	- 円																		
売却損の合計	0 百万円																		
区分	投資信託受益証券																		
売却額	0 百万円																		
売却益の合計	- 円																		
売却損の合計	0 百万円																		

(デリバティブ取引関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
該当なし	同 左

## (退職給付関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日																																																																																																
<p>1. 採用している退職給付制度の概要</p> <p>当社は、旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社で設けられていた、適格退職年金制度及び旧退職金制度を引き続き有しています。当社は、平成21年12月2日に旧ブラックロック・ジャパン株式会社との合併に伴い、旧ブラックロック・ジャパン株式会社における退職年金制度（確定拠出年金制度及び確定給付年金制度）を承継しました。従って、平成21年12月2日以降、からの四つの制度を有しています。</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付債務</td> <td style="text-align: right;">1,718</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>年金資産残高</td> <td style="text-align: right;">1,433</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未積立退職給付債務</td> <td style="text-align: right;"><u>285</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未認識過去勤務債務</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未認識数理計算上の差異</td> <td style="text-align: right;"><u>11</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額純額</td> <td style="text-align: right;">283</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前払年金費用</td> <td style="text-align: right;"><u>23</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;"><u>306</u></td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>（注）旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社の従業員に対しては、退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用しております。</p> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">勤務費用等</td> <td style="text-align: right;">402</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>利息費用</td> <td style="text-align: right;">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期待運用収益</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>過去勤務債務の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>確定拠出年金に係る要拠出額</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職給付費用負担額合計</td> <td style="text-align: right;"><u>421</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別退職金</td> <td style="text-align: right;"><u>518</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>939</u></td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>（注）簡便法を採用している旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社の従業員の退職給付費用は、勤務費用等に計上しております。</p>	退職給付債務	1,718	百万円	年金資産残高	1,433		未積立退職給付債務	<u>285</u>		未認識過去勤務債務	13		未認識数理計算上の差異	<u>11</u>		貸借対照表計上額純額	283		前払年金費用	<u>23</u>		退職給付引当金	<u>306</u>	百万円	勤務費用等	402	百万円	利息費用	3		期待運用収益	1		過去勤務債務の費用処理額	0		数理計算上の差異の費用処理額	0		確定拠出年金に係る要拠出額	13		退職給付費用負担額合計	<u>421</u>		特別退職金	<u>518</u>		合計	<u>939</u>	百万円	<p>1. 採用している退職給付制度の概要</p> <p>当社は、旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社で設けられていた、旧退職金制度を引き続き有しています。当社は、平成21年12月2日に旧ブラックロック・ジャパン株式会社との合併に伴い、旧ブラックロック・ジャパン株式会社における退職年金制度（確定拠出年金制度及び確定給付年金制度）を承継しました。また、平成23年1月1日付で旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社から引き継いだ適格退職年金制度はキャッシュ・バランス型の確定給付年金制度に移行しました。従って、平成23年1月1日以降、からの三つの制度を有しています。</p> <p>2. 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">退職給付債務</td> <td style="text-align: right;">1,550</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>年金資産残高</td> <td style="text-align: right;">1,352</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未積立退職給付債務</td> <td style="text-align: right;"><u>198</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未認識過去勤務債務</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未認識数理計算上の差異</td> <td style="text-align: right;"><u>96</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;"><u>342</u></td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table> <p>3. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">勤務費用等</td> <td style="text-align: right;">275</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>利息費用</td> <td style="text-align: right;">23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期待運用収益</td> <td style="text-align: right;">11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>過去勤務債務の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異の費用処理額</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>確定拠出年金に係る要拠出額</td> <td style="text-align: right;">33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退職給付費用合計</td> <td style="text-align: right;"><u>320</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別退職金</td> <td style="text-align: right;"><u>118</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;"><u>438</u></td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> </table>	退職給付債務	1,550	百万円	年金資産残高	1,352		未積立退職給付債務	<u>198</u>		未認識過去勤務債務	47		未認識数理計算上の差異	<u>96</u>		退職給付引当金	<u>342</u>	百万円	勤務費用等	275	百万円	利息費用	23		期待運用収益	11		過去勤務債務の費用処理額	0		数理計算上の差異の費用処理額	1		確定拠出年金に係る要拠出額	33		退職給付費用合計	<u>320</u>		特別退職金	<u>118</u>		合計	<u>438</u>	百万円
退職給付債務	1,718	百万円																																																																																															
年金資産残高	1,433																																																																																																
未積立退職給付債務	<u>285</u>																																																																																																
未認識過去勤務債務	13																																																																																																
未認識数理計算上の差異	<u>11</u>																																																																																																
貸借対照表計上額純額	283																																																																																																
前払年金費用	<u>23</u>																																																																																																
退職給付引当金	<u>306</u>	百万円																																																																																															
勤務費用等	402	百万円																																																																																															
利息費用	3																																																																																																
期待運用収益	1																																																																																																
過去勤務債務の費用処理額	0																																																																																																
数理計算上の差異の費用処理額	0																																																																																																
確定拠出年金に係る要拠出額	13																																																																																																
退職給付費用負担額合計	<u>421</u>																																																																																																
特別退職金	<u>518</u>																																																																																																
合計	<u>939</u>	百万円																																																																																															
退職給付債務	1,550	百万円																																																																																															
年金資産残高	1,352																																																																																																
未積立退職給付債務	<u>198</u>																																																																																																
未認識過去勤務債務	47																																																																																																
未認識数理計算上の差異	<u>96</u>																																																																																																
退職給付引当金	<u>342</u>	百万円																																																																																															
勤務費用等	275	百万円																																																																																															
利息費用	23																																																																																																
期待運用収益	11																																																																																																
過去勤務債務の費用処理額	0																																																																																																
数理計算上の差異の費用処理額	1																																																																																																
確定拠出年金に係る要拠出額	33																																																																																																
退職給付費用合計	<u>320</u>																																																																																																
特別退職金	<u>118</u>																																																																																																
合計	<u>438</u>	百万円																																																																																															

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
<p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 退職給付見込額の期間配分方法 ポイント基準</p> <p>割引率 1.4%</p> <p>期待運用収益率 0.7%</p> <p>過去勤務債務の額の処理年数 発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異の処理年数 発生の翌事業年度から9年で処理しております。</p>	<p>4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 退職給付見込額の期間配分方法 ポイント基準</p> <p>割引率 1.8%</p> <p>期待運用収益率 0.7%～2.5%</p> <p>過去勤務債務の額の処理年数 発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異の処理年数 発生の翌事業年度から9年で処理しております。</p>



## (税効果会計関係)

第23期 (平成22年3月31日現在)	第24期 (平成23年3月31日現在)																																																														
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産（流動資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>賞与引当金</td><td style="text-align: right;">291百万円</td></tr> <tr><td>未払費用否認</td><td style="text-align: right;">446</td></tr> <tr><td>減価償却損金算入限度超過額</td><td style="text-align: right;">192</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金資産（流動資産）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">930百万円</td></tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">1,041百万円</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">234</td></tr> <tr><td>減価償却損金算入限度超過額</td><td style="text-align: right;">152</td></tr> <tr><td>無形固定資産</td><td style="text-align: right;">312</td></tr> <tr><td>資産調整勘定</td><td style="text-align: right;">79</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">3</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金資産（固定資産）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,823</td></tr> </table> <p>繰延税金負債（固定負債）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>無形固定資産</td><td style="text-align: right;">776</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">9</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金負債（固定負債）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">786</td></tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）の純額 <u>1,037百万円</u></p>	賞与引当金	291百万円	未払費用否認	446	減価償却損金算入限度超過額	192	その他	0	繰延税金資産（流動資産）合計	930百万円	税務上の繰越欠損金	1,041百万円	退職給付引当金	234	減価償却損金算入限度超過額	152	無形固定資産	312	資産調整勘定	79	その他	3	繰延税金資産（固定資産）合計	1,823	無形固定資産	776	その他	9	繰延税金負債（固定負債）合計	786	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p>繰延税金資産（流動資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>賞与引当金</td><td style="text-align: right;">178百万円</td></tr> <tr><td>未払費用</td><td style="text-align: right;">220</td></tr> <tr><td>早期退職慰労引当金</td><td style="text-align: right;">10</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">7</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金資産（流動資産）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">417百万円</td></tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">1,530百万円</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">140</td></tr> <tr><td>有形固定資産</td><td style="text-align: right;">89</td></tr> <tr><td>無形固定資産</td><td style="text-align: right;">91</td></tr> <tr><td>資産調整勘定</td><td style="text-align: right;">39</td></tr> <tr><td>資産除去債務</td><td style="text-align: right;">97</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">3</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金資産（固定資産）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,993</td></tr> </table> <p>繰延税金負債（固定負債）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>無形固定資産</td><td style="text-align: right;">608</td></tr> <tr><td>資産除去債務に対応する除去費用</td><td style="text-align: right;">72</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">繰延税金負債（固定負債）合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">680</td></tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）の純額 <u>1,312百万円</u></p>	賞与引当金	178百万円	未払費用	220	早期退職慰労引当金	10	その他	7	繰延税金資産（流動資産）合計	417百万円	税務上の繰越欠損金	1,530百万円	退職給付引当金	140	有形固定資産	89	無形固定資産	91	資産調整勘定	39	資産除去債務	97	その他	3	繰延税金資産（固定資産）合計	1,993	無形固定資産	608	資産除去債務に対応する除去費用	72	繰延税金負債（固定負債）合計	680
賞与引当金	291百万円																																																														
未払費用否認	446																																																														
減価償却損金算入限度超過額	192																																																														
その他	0																																																														
繰延税金資産（流動資産）合計	930百万円																																																														
税務上の繰越欠損金	1,041百万円																																																														
退職給付引当金	234																																																														
減価償却損金算入限度超過額	152																																																														
無形固定資産	312																																																														
資産調整勘定	79																																																														
その他	3																																																														
繰延税金資産（固定資産）合計	1,823																																																														
無形固定資産	776																																																														
その他	9																																																														
繰延税金負債（固定負債）合計	786																																																														
賞与引当金	178百万円																																																														
未払費用	220																																																														
早期退職慰労引当金	10																																																														
その他	7																																																														
繰延税金資産（流動資産）合計	417百万円																																																														
税務上の繰越欠損金	1,530百万円																																																														
退職給付引当金	140																																																														
有形固定資産	89																																																														
無形固定資産	91																																																														
資産調整勘定	39																																																														
資産除去債務	97																																																														
その他	3																																																														
繰延税金資産（固定資産）合計	1,993																																																														
無形固定資産	608																																																														
資産除去債務に対応する除去費用	72																																																														
繰延税金負債（固定負債）合計	680																																																														
<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">41.0%</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">14.2</td></tr> <tr><td>損金不算入ののれん償却額</td><td style="text-align: right;">6.1</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">2.2</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">22.9%</td></tr> </table>	法定実効税率	41.0%	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	14.2	損金不算入ののれん償却額	6.1	その他	2.2	税効果会計適用後の法人税等の負担率	22.9%	<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因となった主な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">41.0%</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">48.6</td></tr> <tr><td>損金不算入ののれん償却額</td><td style="text-align: right;">128.8</td></tr> <tr><td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">101.7</td></tr> <tr><td>住民税均等割</td><td style="text-align: right;">1.1</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">1.5</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">119.2%</td></tr> </table>	法定実効税率	41.0%	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	48.6	損金不算入ののれん償却額	128.8	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	101.7	住民税均等割	1.1	その他	1.5	税効果会計適用後の法人税等の負担率	119.2%																																		
法定実効税率	41.0%																																																														
(調整)																																																															
交際費等永久に損金に算入されない項目	14.2																																																														
損金不算入ののれん償却額	6.1																																																														
その他	2.2																																																														
税効果会計適用後の法人税等の負担率	22.9%																																																														
法定実効税率	41.0%																																																														
(調整)																																																															
交際費等永久に損金に算入されない項目	48.6																																																														
損金不算入ののれん償却額	128.8																																																														
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	101.7																																																														
住民税均等割	1.1																																																														
その他	1.5																																																														
税効果会計適用後の法人税等の負担率	119.2%																																																														

## (企業結合等関係)

<p style="text-align: center;">第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日</p>	<p style="text-align: center;">第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日</p>								
<p>(共通支配下の取引等関係)</p> <p>1. 結合当事企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容</p> <p style="padding-left: 20px;">結合当事企業又は対象となった事業の名称 ブラックロック・ジャパン株式会社</p> <p style="padding-left: 20px;">事業の内容 投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業等</p> <p style="padding-left: 20px;">企業結合の法的形式 吸収合併</p> <p style="padding-left: 20px;">結合後企業の名称 ブラックロック・ジャパン株式会社</p> <p style="padding-left: 20px;">取引の目的を含む取引の概要</p> <p>当社は、平成21年11月17日開催の臨時株主総会で、ブラックロック・インクによるパークレイズ・グローバル・インベスターズの買収に伴う日本法人においての経営統合を目的に、平成21年12月2日を効力発生日として、当社を吸収合併存続株式会社、旧ブラックロック・ジャパン株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併が行われることを承認し、旧ブラックロック・ジャパン株式会社の資産、負債及び契約上の地位その他一切の権利義務を当社に承継させる吸収合併を行いました。</p> <p>また当社は平成21年12月2日、ブラックロック・ジャパン株式会社へ商号の変更を行っております。</p> <p>なお、本吸収合併の効力発生時点において当社及び旧ブラックロック・ジャパン株式会社の株主はブラックロック・ジャパン・ホールディング合同会社のみとなっていることから、本吸収合併に際して、当社はブラックロック・ジャパン・ホールディング合同会社に対して、株式その他の金銭等の対価を交付しておりません。</p> <p>企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳</p> <p>(1) 資産の額</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>流動資産</td> <td>4,780百万円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td>7,419百万円</td> </tr> </table> <p>(2) 負債の額</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>流動負債</td> <td>2,043百万円</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td>8,937百万円</td> </tr> </table> <p>上記金額は、当社の財務諸表に基づき必要な組替を行った旧ブラックロック・ジャパン株式会社の最終事業年度の財務諸表に基づいております。</p>	流動資産	4,780百万円	固定資産	7,419百万円	流動負債	2,043百万円	固定負債	8,937百万円	-
流動資産	4,780百万円								
固定資産	7,419百万円								
流動負債	2,043百万円								
固定負債	8,937百万円								

<p style="text-align: center;">第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日</p>	<p style="text-align: center;">第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日</p>
<p>2. 吸収分割先企業又は対象となった事業の名称及びその事業の内容  その事業の内容  分割先企業の名称  ブラックロック証券株式会社  分割した事業の内容  第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業及び金融商品取引業に付随する業務等  分割の法的形式  吸収分割  取引の目的を含む取引の概要  当社は、平成21年11月17日開催の臨時株主総会で、ブラックロック証券会社(BSC)に対して、iシェアーズ・ビジネスを含む証券営業部及び金融法人営業部に係る事業に関する権利義務を吸収分割により承継させることを承認し、平成21年12月2日を効力発生日として、当社を吸収分割株式会社、ブラックロック証券株式会社を吸収分割承継株式会社として、それまで当社が営んでいた第一種金融商品取引業に関する資産、負債、契約上の地位その他一切の権利義務をブラックロック証券株式会社に承継させる吸収分割を行いました。</p> <p>なお、本吸収分割の効力発生時点において当社はBSCの発行済み株式の全部を保有していることから、本吸収合併に際して、BSCは当社に対して、株式その他の金銭等の対価を交付しておりません。</p> <p>3. 実施した会計処理の概要  本取引（1.及び2.）は、「企業結合に係る会計基準」（企業会計審議会平成15年10月31日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号最終改正平成19年11月15日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。</p>	

## (資産除去債務関係)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日						
-	<p>資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの</p> <p>1. 当該資産除去債務の概要 当社事業所の定期建物賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。</p> <p>2. 当該資産除去債務の金額の算定方法 使用見込期間を当該定期建物賃貸借契約上の賃貸借期間10年と見積り、割引率は1.5%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。</p> <p>3. 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">期首残高（注）</td> <td style="text-align: right;">233百万円</td> </tr> <tr> <td>時の経過による調整額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">237百万円</td> </tr> </table> <p>（注） 当事業年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用したことによる期首時点における残高であります。</p>	期首残高（注）	233百万円	時の経過による調整額	3	期末残高	237百万円
期首残高（注）	233百万円						
時の経過による調整額	3						
期末残高	237百万円						

## (セグメント情報等)

第23期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

## 1. セグメント情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 4. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

第24期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（追加情報）

当事業年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

#### 1. セグメント情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### 2. 関連情報

製品及びサービスに関する情報

（単位：百万円）

	委託者報酬	運用受託報酬	その他	合計
外部顧客 営業収益	5,677	9,800	2,292	17,771

地域に関する情報

##### (1) 売上高

（単位：百万円）

日本	その他	合計
14,812	2,958	17,771

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

主要な顧客に関する情報

政府系機関に対するものを除き、営業収益の10%以上を占める主要な顧客に該当するものではありません。

#### 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

#### 4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### 5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

## (関連当事者情報)

第23期(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

## (1) 親会社及び主要株主等

自:平成21年4月1日至:平成21年12月1日(注1)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	Barclays Bank PLC	英国 ロンドン市	2,402 百万 ポンド	銀行業	間接(100%)	ローン貸出 及び借入	受取利息 (注2)	7	未収収益	-
							支払利息 (注3)	23	未払費用	-

(注1)平成21年12月2日に、当社の究極の親会社がBarclays Global Investors UK Holdings Limited からブラックロック・インクに変更されました。

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注2)受取利息については、一般取引条件と同様に決定しております。

(注3)支払利息については、市場金利を勘案して決定しております。尚、担保は差し入れておりません。

## (2) 同一の親会社を持つ会社等

自:平成21年12月2日至:平成22年3月31日(注1)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社をもつ会社	旧ブラックロック・ジャパン株式会社	東京都千代田区	2,989 百万円	投資運用業	なし	吸収合併消滅会社	吸収合併(注2)	承継資産合計: 12,200 承継負債合計: 10,980 承継純資産合計: 1,219 合併対価: -	-	-
同一の親会社をもつ会社	ブラックロック・ルックス・フィンコ・S.a. r.l.	ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ市	10万 米ドル	資産運用会社等の事業の支配・管理	なし	ローン借入	借入金(注3)	10,237	長期借入金	10,237
							支払利息(注4)	114	未払利息	-

(注1)平成21年12月2日に、当社の究極の親会社がBarclays Global Investors UK Holdings Limited からブラックロック・インクに変更されました。

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注2)吸収合併については、共通支配下の取引として算定された額を計上しております。

(注3)取引金額の内訳は次の通りとなっております。尚、担保は差し入れておりません。

吸収合併による消滅会社から承継した借入金: 8,937百万円

当社の究極の親会社変更に伴い、当該貸出先において承継された劣後特約付借入金: 1,300百万円

(注4)支払利息については、市場金利を勘案して決定しております。尚、担保は差し入れておりません。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

ブラックロック・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)

ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク(非上場)

第24期(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

## 1. 関連当事者との取引

## (1) 親会社等

自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	ブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社	東京都千代田区	1万円	資産運用会社等の事業の支配・管理	直接(100%)	出資	新株の発行(注)	3,900	資本金	1,950
									資本準備金	1,950

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)当社に対する貸付金を出資の目的とする株式発行であります。

## (2) 子会社等

自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	ブラックロック証券株式会社	東京都千代田区	1億5千5万円	第一種金融商品取引業	直接 100%	出資	受取配当金(注)	500	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)子会社における平成23年3月31日開催の臨時株主総会の決議に基づき、当社は配当金を受領しました。

## (3) 同一の親会社を持つ会社等

自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社をもつ会社	ブラックロック・ルクセンブルクス・フィンコ・S.a.r.l.	ルクセンブルグ大公国ルクセンブルグ市	10万米ドル	資産運用会社等の事業の支配・管理	なし	ローン借入	借入金	-	長期借入金(注2)	6,337
							支払利息(注1)	333	未払利息	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)支払利息については、市場金利を勘案して決定しております。尚、担保は差し入れておりません。

(注2)長期借入金には劣後特約付借入金5,237百万円が含まれております。尚、貸付人の変更により長期借入金が当期3,900百万円減少しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

ブラックロック・インク（ニューヨーク証券取引所に上場）

ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク（非上場）

## (1株当たり情報)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日		第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	
1株当たり純資産額	983,059円95銭	1株当たり純資産額	1,389,292円18銭
1株当たり当期純損失	117,424円51銭	1株当たり当期純損失	4,171円51銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純損失の算定上の基礎 損益計算書上の当期純損失		1株当たり当期純損失の算定上の基礎 損益計算書上の当期純損失	
	1,084百万円		38百万円
1株当たり当期純損失の算定に 用いられた普通株式に係る当期純損失		1株当たり当期純損失の算定に 用いられた普通株式に係る当期純損失	
	1,084百万円		38百万円
期中平均株式数		期中平均株式数	
	9,238株		9,316株

## (重要な後発事象)

第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日														
-	<p>当社は平成23年2月25日開催の臨時株主総会の決議に基づき、平成23年4月1日付で当社を吸収合併存続会社とし、100%子会社であるブラックロック証券株式会社（以下、「BSC」という。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。</p> <p>合併の理由： 当社はグループ内における再編の一環として、BSCを吸収合併しました。</p> <p>合併相手先の名称： ブラックロック証券株式会社</p> <p>合併後の会社の名称： ブラックロック・ジャパン株式会社</p> <p>合併相手先の主な事業内容： 第一種金融商品取引業</p> <p>合併相手先の事業規模： 第4期（平成23年3月期）における合併相手先であるBSCの事業規模は以下のとおりです。</p> <table> <tr> <td>営業利益</td> <td>446 百万円</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>445 百万円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>256 百万円</td> </tr> <tr> <td>資産合計</td> <td>846 百万円</td> </tr> <tr> <td>負債合計</td> <td>387 百万円</td> </tr> <tr> <td>純資産合計</td> <td>459 百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>54 名</td> </tr> </table>	営業利益	446 百万円	経常利益	445 百万円	当期純利益	256 百万円	資産合計	846 百万円	負債合計	387 百万円	純資産合計	459 百万円	従業員数	54 名
営業利益	446 百万円														
経常利益	445 百万円														
当期純利益	256 百万円														
資産合計	846 百万円														
負債合計	387 百万円														
純資産合計	459 百万円														
従業員数	54 名														



第23期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	第24期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
-	<p>合併の方法： 当社を存続会社として、BSCを吸収合併消滅会社としました。</p> <p>合併の対価： 本合併の効力発生時点においてBSCの株主は当社のみとなっていることから、本合併に際して、当社からBSCに対して、株式その他の金銭等の対価は交付しておりません。</p> <p>引継ぐ財産の額： 合併日において引継がれるBSCの資産・負債（平成23年4月1日現在）は以下のとおりです。 資産合計 846 百万円 負債合計 387 百万円 なお、「増加すべき資本・準備金・その他利益剰余金等の額」はありません。</p> <p>合併の時期： 平成23年4月1日</p> <p>実施した会計処理の概要： 「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。</p>

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして金融商品取引業等に関する内閣府令で定めるものを除きます。)
- (3) 通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の委託会社と密接な関係を有する法人その他の団体として金融商品取引法施行令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)(5)において同じ。 )又は子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の委託会社と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。 )と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記に掲げるもののほか、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして金融商品取引業等に関する内閣府令で定める行為。

## 5【その他】

## 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

変更年月日	変更事項
平成19年9月18日	証券業登録に伴う商号変更(「パークレイズ・グローバル・インベスターズ証券投信投資顧問株式会社」に変更)のため、定款変更を行いました。
平成19年9月30日	商号変更(「パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社」に変更)のため、定款変更を行いました。
平成19年9月30日	公告の方法を変更するため、定款変更を行いました。
平成19年12月27日	事業を営むことの目的を変更するため、定款変更を行いました。
平成20年7月1日	グループ会社の1つであるパークレイズ・グローバル・インベスターズ・サービス株式会社を吸収合併し、それに伴い資本金の額を変更いたしました。
平成20年7月1日	株式取扱規則に関する記述を追加するため、定款変更を行いました。
平成21年6月22日	本店所在地変更のため、定款変更を行いました。
平成21年12月2日	ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 商号変更(「ブラックロック・ジャパン株式会社」に変更)および定款変更を行いました。
平成23年4月1日	グループ会社であるブラックロック証券株式会社を吸収合併し、それに先立ち定款変更および資本金の額の変更を行いました。

## 第2 【その他の関係法人の概況】

### 1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

#### (1) 受託会社

- ・名称 : 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・資本金の額 : 324,279百万円(平成23年3月末現在)
- ・事業の内容 : 銀行法に基づき、銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

#### <参考：再信託受託会社の概要>

- ・名称 : 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
- ・資本金の額 : 10,000百万円(平成23年3月末現在)
- ・事業の内容 : 銀行法に基づき、銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。
- ・再信託の目的 : 原信託契約にかかる信託業務の一部(信託財産の管理)を原信託受託会社から再信託受託会社(日本マスタートラスト信託銀行株式会社)へ委託するため、原信託財産の全てを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

#### (2) 販売会社

名称	資本金の額(百万円) (平成23年3月末現在)	事業の内容
ソニー銀行株式会社 <sup>*1</sup>	31,000	銀行法に基づき、銀行業を営んでおります。
SMB C日興証券株式会社	10,000	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	47,937	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	18,000 <sup>*2</sup>	
三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社	8,000	

\*1 ソニー銀行株式会社は、換金に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行い、新規の募集および販売の取扱いは行いません。

\*2 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の資本金の額は平成23年4月28日現在のものです。

#### (3) 投資顧問会社

- ・名称 : ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク
- ・資本金の額 : 8,787百万米ドル(円貨換算<sup>\*</sup> 約7,306億円、平成23年3月末現在)  
\* 米ドルの円換算は、平成23年3月末現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=83.15円)によります。
- ・事業の内容 : 投資運用業を営んでいます。

- ・名称 : ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド
- ・資本金の額 : 94百万英ポンド(円貨換算<sup>\*</sup> 約126億円、平成23年3月末現在)  
<sup>\*</sup> 英ポンドの円換算は、平成23年3月末現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1英ポンド=133.89円)によります。
- ・事業の内容 : 投資運用業を営んでいます。

- ・名称 : ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッド
- ・資本金の額 : 13百万豪ドル(円貨換算<sup>\*</sup> 約1,119百万円、平成23年3月末現在)  
<sup>\*</sup> 豪ドルの円換算は、平成23年3月末現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1豪ドル=86.08円)によります。
- ・事業の内容 : 投資運用業を営んでいます。

## 2【関係業務の概要】

### (1) 受託会社

受託会社(受託者)として、ファンドの信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行います。

### (2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いおよび販売を行い、換金に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

### (3) 投資顧問会社

委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受けて運用の指図を行っています。

## 3【資本関係】

### (1) 受託会社

該当事項はありません。

### (2) 販売会社

該当事項はありません。

### (3) 投資顧問会社

当社およびブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッドの最終的な親会社は、ブラックロック・インクです。

### 第3 【その他】

1 交付目論見書の表紙等に、以下の事項を記載します。

(1) 委託会社等の情報

委託会社名

金融商品取引業者登録番号

設立年月日

資本金

当該委託会社が運用する投資信託財産の合計純資産総額

「ファンドの運用の指図を行う者である。」旨

(2) 受託会社に関する情報

受託会社名および「ファンドの財産の保管および管理を行う者である。」旨

(3) 詳細情報の入手方法

詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載します。

委託会社のホームページアドレス、電話番号および受付時間等

請求目論見書の入手方法および投資信託約款が請求目論見書に添付されている旨

(4) 交付目論見書の使用開始日

(5) 届出の効力に関する事項

金商法第4条第1項又は第2項の規定による届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載します。

届出をした日および当該届出の効力の発生の有無を確認する方法

届出をした日、届出が効力を生じている旨および効力発生日

(6) その他の記載事項

商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託および投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号、以下「投信法」という。）に基づき事前に投資者の意向を確認する旨

投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨

請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨

「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載

2 交付目論見書の「投資リスク」記載箇所に金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用がない旨を記載します。

3 目論見書は別称として、「投資信託説明書」と称して使用することがあります。

4 目論見書は電子媒体等として使用される他、インターネット等に掲載されることがあります。

## 独立監査人の監査報告書

平成23年5月11日

ブラックロック・ジャパン株式会社

取締役会御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）の平成22年9月16日から平成23年3月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）の平成23年3月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成23年5月11日

ブラックロック・ジャパン株式会社

取締役会御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）の平成22年9月16日から平成23年3月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）の平成23年3月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

[次へ](#)



## 独立監査人の監査報告書

平成22年5月19日

ブラックロック・ジャパン株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 川本修司

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 星知子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているブラックロック・ジャパン株式会社（旧社名：パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社）の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第23期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ジャパン株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[前へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成23年11月2日

ブラックロック・ジャパン株式会社

取締役会御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）の平成23年3月16日から平成23年9月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）の平成23年9月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

平成23年11月2日

ブラックロック・ジャパン株式会社

取締役会御中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）の平成23年3月16日から平成23年9月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）の平成23年9月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

[次へ](#)

# 独立監査人の監査報告書

平成23年6月16日

ブラックロック・ジャパン株式会社

取締役会

御中

## 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	川本修司	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若林亜希	印
--------------------	-------	------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているブラックロック・ジャパン株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ジャパン株式会社の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年4月1日付けで100%子会社であるブラックロック証券株式会社を吸収合併した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

[前へ](#)